

看護学部 看護学科 1年次 シラバス

開設科目名	カトリックの愛の精神 I	科目コード	BSNLH101	開設期	1 年前期
単位数 (履修区分)	1 単位 (必修)	時間数	1 5 時間	授業区分	講義
責任者	井手信	担当者	井手信、井手三郎、寺浜亮司		
授業の概要 (授業の目的)					
建学の精神である「カトリックの愛の精神」に基づく看護は、すなわち、キリスト教の (カトリック) の人間観に基づく人格の尊厳を尊重する行為であり、全人的ケア/ケアリングである。生命の価値・人間の尊厳について学び、いのちの支援者としての本学の社会的使命についての理解を深める。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー (学位授与の方針) との関連		
1) 建学の精神「カトリックの愛の精神」についての理解を深める			1 いのちの尊重・倫理的本質		
2) 人格の尊厳・価値を知り、自己の価値観について考えることができる					
3) ケア/ケアリングの本質について理解し、ケアリング行動をとることができる					
4) 人格の尊厳の尊重のための全人的ケアに関心を持つことが出来る					
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習 (学習課題)	取組時間
1	カトリックの愛の精神と創設者のこころ① 本学の建学の精神を知る、「善いサマリア人」	講義 <対面>	井手 信	テキスト①「良いサマリア人」を読んでおく	4 時間
2	カトリックの愛の精神と創設者のこころ② 本学の建学の精神と歴史を知る	講義 <対面>	井手 三	テキスト②を読んでおく 人間の尊厳について調べておく	3 時間
3	キリシタン時代の医療福祉	講義 <対面>	井手 三	テキスト②を読んでおく キリスト教の理念に基づく医療福祉事業のルーツを知る キリシタンについて調べておく	3 時間
4	人格の尊厳・価値について、 いのちを「守り育てる」	講義 <対面>	井手 信	テキスト② 人間の尊厳・価値を尊重する行為について調べておく 自己の価値観をまとめる	4 時間
5	病と苦しみへの共感・ケア/ケアリングについて① ケアリングの本質を学ぶ	講義 <対面>	井手 信	テキスト③を読んでおく	4 時間
6	病と苦しみへの共感・ケア/ケアリングについて② ケアリングの本質を学ぶ	講義 <対面>	井手 信	テキスト②, ③を読んでおく	4 時間
7	いのちの支援者としての全人的ケア 全人的ケアの実践を学ぶ	講義 <対面>	井手 信	臨床における全人的ケアについて調べておく テキスト③を読んでおく (ゲストスピーカー)	3 時間
8	病と苦しみへの共感、苦しみのキリスト教的意味	講義 <対面>	寺浜	霊的ケア、ケアリングの必要性を学び、建学の精神「カトリックの愛の精神」に基づく自己のケアリング行動について考える	4 時間
成績評価方法・基準	授業外レポート 80%、授業内レポート 20% (井手 信)				
課題に対するフィードバック	提出された課題レポート、リアクションペーパーについては次回授業でコメントを伝えフィードバックする				
教科書	① 聖書 新共同訳—旧約聖書続編つき—、日本聖書協会 ② 教皇ヨハネパウロ二世 (2008) : 回勅 いのちの福音、カトリック中央協議会 ③ ミルトン・メイヤーロフ: ケアの本質』 ゆみる出版				
参考書・参考文献	シスター・シモーン・ローチ: アクト・オブ・ケアリング ゆみる出版				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	オフィスアワー: 水曜日 16:30~17:30 連絡先: 2号館 2階学院長室 メールアドレス: n-ide@stmaryacjp.onmicrosoft.com メッセージ: 人間の尊厳は本学の看護学を中心となる概念です。しっかりと学び各自の看護観形成に生かしてください。				

開設科目名	キリスト教概論 I	科目コード	BSNLH102	開設期	1 年前期
単位数 (履修区分)	1 単位 (必修)	時間数	1 5 時間	授業区分	講義
責任者	牧山強美	担当者	牧山強美		
授業の概要 (授業の目的)					
<p>聖書を開き、キリスト教哲学や神学が提示してきたキリスト教の知的遺産にふれる。人類の普遍的関心事でありつづける「人間とは何か」の問いを軸に、神、イエス・キリストとは何ものかについても理性的かつ論理的な考察を試みる。また、生命の意味と価値、良心と真理、自由と法、善と悪などの基礎倫理的な諸概念を理解し、イエス・キリストの教える愛に倣って生きることが人間の幸福であり、完成であることを一緒に考えてみる。</p>					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) 聖書を、人間 (=私) に対する指南書として開くことができる				いのちの尊重・倫理的本質	
2) 自己と他者の相違、および共通の傾向性 (自然法) について理解することができる					
3) 生命の意味と価値を学び、すべての人格の尊厳を尊重すべきことを理解できる					
4) 自己を犠牲にしてまでも苦しんでいる人々に援助の手をさしよる愛の尊さを理解できる					
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	「私」とは誰か 「私」についてよく知らない私を知る。 人格 (ペルソナ) の概念。	講義 <面接>	牧山	授業後、他の多様な「人間観」についても検索し、それらの人間観の叙述の中に「私」を探してみる。	2 時間
2	「人間」とは何か 人間の特徴と共通の傾向性	講義 <面接>	牧山		
3	「神」とは何ものか 神の存在と人間の存在の関係	講義 <面接>	牧山	授業後、自分の (家の) 宗教の教えを調べてみる。 また、マルコ福音書を自分で開いて読んでみる。	2 時間
4	「イエス・キリスト」とは何ものか イエスの教えとその生涯、苦しみと死	講義 <面接>	牧山		
5	生命の意味と価値について 生物学的生命と人のいのち	講義 <面接>	牧山	授業後、いくつかの重要な諸概念について辞書等で調べてみる。	4 時間
6	良心と真理、自由と法について 善く正しく生きるための価値判断の諸基準	講義 <面接>	牧山	提示された内容で中間レポートを作成し、期日までに Webclass で提出する。	
7	人間の幸せと愛について キリスト教的幸福論と愛の教え	講義 <面接>	牧山	授業後、提示された内容で期末レポートを作成するために、復習し、期日までに Webclass で提出する。	4 時間
8	キリストの愛を看護の中で生きる 看護師として「働く」ことの意義と価値	講義 <面接>	牧山		
成績評価方法・基準	① 中間レポート 30% (牧山) ② 期末レポート 70% (牧山)				
課題に対するフィードバック	<p>毎回の授業のはじめに、前回の授業の主要な内容を全員でふりかえります。また、毎回の授業のおわりにリアクションペーパーを提出します。そこには、その回の内容について理解したこと、印象や感想、質問を記載して (無記名可) 提出してください。また、授業後の学習課題を通して、さらに理解したことや生じた疑問などについては、リアクションペーパーとは別に、記名のうえ、提出してください。コメントや解答を加えて返却します。また重要と思われる質問については、次回の授業の際に紹介し、解答します。</p> <p>中間および期末レポートについては、必要と判断される場合には、Webclass などを利用して、個別にコメントを加えます。また講義最終日に講義の総評を行い、今後の学習や生活についてのアドバイスなどを行います。</p>				
教科書	聖書 新共同訳 旧約聖書続編つきー				
参考書・参考文献	特になし。必要であれば授業中に提示します。				
オフィス 学習相談 メッセージ その他	<p>牧山強美 (非常勤) 質問、疑問があれば、授業中いつでも、また授業終了後に受け付けます。</p> <p>何についても可能なかぎりお答えします。</p>				

開設科目名	哲学的人間論	科目コード	BSNLH103	開設期	1年後期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	上野正二	担当者	上野正二		
授業の概要(授業の目的)					
<p>①:誰もが希求する〈幸福〉ないし〈善い生〉について、古典的文献の読解力を磨きながら、よく考える。</p> <p>②:考えたことを何度もレポートすることによって、学習を定着させる。</p> <p>③:幸福論の基本的構図を応用して、同様に人間の学である他の分野に進出する方法を考える。</p>					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) 私たちが自分の人生をかけて実現するに値する〈幸福〉とは何であるのかを考えることができる。				いのちの尊重・倫理の本質	
2) NHKスペシャル「幸福学」など、今日普及している「幸福論」の欠陥を指摘することができる。					
3) 人類の貴重な知的遺産として伝えられている西洋古典における〈幸福論〉を読解することができる。 この講義で費やす時間はほとんどがこの西洋古典の読解に当てられる。					
4) これらの〈幸福論〉を現代的にバックアップする〈哲学的思索方法〉を体得することができる。 哲学的思索というのはよほど難解な、普通の人の考えないやり方だと思われるかもしれないが、そんなことはない。むしろ、今日の物理学の世界などは、昔のひとが知ったら目を回すような奇妙な考えなのに、それで罷り通っている。-----このような考えを整理して話すことになるだろうと思う。					
5) 読解した文書をもとに、さまざまなテーマでレポートを作成することができる。					
6) これまでに考えてきた〈幸福論〉を使って、ラディカルにケアリングを構想することができる。 どの項目も「〜できる」と書いているが、「〜できる」の主体は諸君です。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	① 〈哲学的人間論〉について ② 次回以降の講義の進め方について	講義 <面接>	上野	実際にこの回の講義をノートに整理してくること	4時間
2	資料①『『ソクラテスの弁明』より』を読んで、そこに「何が語られているか」を考え、指示に従いレポートする	講義 <面接>	上野	文章読解の難しさを自覚したら、必要に応じて参考書を読み返すこと	4時間
3	資料②『『エウテュデモス』より』の九章までを読み、〈幸福論〉として討議し、レポートを書く	講義 <面接>	上野	この資料を読み、めまいを覚えたら、講師の作戦は成功したと言える	4時間
4	先回のレポートに対する講師の解説と、資料③に対する説明を加味して、再度『『エウテュデモス』の幸福論について』という題でレポートを書く	講義 <面接>	上野	〈理解〉が困難な場合もあきらめず、「自分には分からないがこのような話があった」と客観的に報告ができればよい	4時間
5	先回のレポートに関する解説を基にして、自分に納得のゆく〈幸福論〉を構築し、レポートする	講義 <面接>	上野	一点集中的な〈ものの考え方〉を理解し、可能な限りそれを自分のものにする	4時間
6	資料④のソクラテスの〈知らないことを知っている〉という言葉を中心に、何を言おうとしているのかをレポートする	講義 <面接>	上野	自己の認識経験の最も素朴な事実の確認と、そこで浮かび上がってくる存在付与者の確認	4時間
7	先回のレポートに関する解説に基づき、ソクラテスにおける〈善美のことがら〉に関して、レポートを書く	講義 <面接>	上野	いわゆる〈メンタル・ケア〉論における〈幸福原理〉の有効性を確認しておくこと	4時間
8	これまでの作業の総仕上げとして、〈幸福論〉を中心に最終レポートを仕上げる準備をする。	講義 <面接>	上野	この回の講義内容を整理しておくこと	4時間
成績評価方法・基準	最後のレポートによる。評価規準については何度も講義で示す。				
課題に対するフィードバック	配付資料を自分でくりかえし読み返すこと。 最後の講義で全体を振り返る。				
教科書	配布冊子。				
参考書・参考文献	特になし				
オフィス 学習相談 メッセージ その他	上野正二(非常勤) shueno@kdt.ne.jp 学習相談等に関しては、講義中に受け付けます				

開設科目名	生命倫理 I	科目コード	BSNLH104	開設期	1 年前期
単位数 (履修区分)	1 単位 (必修)	時間数	1 5 時間	授業区分	講義
責任者	青木清	担当者	青木清		
授業の概要 (授業の目的)					
現代は科学技術と医療技術の進歩が私たち人間の生存に対して、様々な問題を提示している。これらの問題に対して生命倫理の役割は大きい。本講義は生物医学の進歩によってもたらされる人間の生命に関する科学的知見を理解すると共に生命倫理の諸問題を考えることを目的とする。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1)生物医学の進歩によってもたらされる人間の生命に関する科学的知見を理解することができる				いのちの尊重・倫理的本質	
2)生命倫理の諸問題を考えることができる。					
3)医療実務に役立つ					
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	生物進化とヒトの出現 DNA生物学	講義 <面接>	青木	生物科学の遺伝学や発生学について、基本的なことを調べておく	4 時間
2	人間の尊厳とバイオエシックス クローン羊の誕生	講義 <面接>	青木	日本国憲法の理解 ヒトクローン法について調べておく	4 時間
3	ヒトゲノム 再生医学 -ES 細胞と ips 細胞-	講義 <面接>	青木	高齢化社会での再生医療 ips 細胞について	4 時間
4	脳死と臓器移植 医療における倫理	講義 <面接>	青木	脳死臓器移植法について調べておく	4 時間
5	遺伝子をめぐる生命倫理 終末医療	講義 <面接>	青木	尊厳死と安楽死について調べておく	4 時間
6	生命倫理の基本原則 人間の生存を考える	講義 <面接>	青木	生命倫理の歴史について調べておく	4 時間
7	バイオテクノロジーと環境 環境倫理	講義 <面接>	青木	地球環境倫理 ラウダシについて	4 時間
8	倫理に関する総括	講義 <面接>	青木	生命倫理・医療倫理・研究倫理について	4 時間
成績評価方法・基準	レポート 90%、授業態度・授業への参加度 10% (青木)				
課題に対するフィードバック	講義最終日に講義の総評や今後の学習アドバイスをを行う				
教科書	特になし				
参考書・参考文献	坂本・青木・山田編「生命倫理」北樹出版				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	青木 清 (非常勤) 授業終了後、教室で質問を受け付けます。または教務課 (kyoumu@st-mary.ac.jp) へ。 将来医療にかかわる人達にとっての大事な知識と教養である。				

開設科目名	サービスマニエラ	科目コード	BSNLH105	開設期	1年前期・後期
単位数(履修区分)	1単位(選択)	時間数	30時間	授業区分	講義・演習
責任者	井手信	担当者	井手信		

授業の概要(授業の目的)

「カトリックの愛の精神」に基づくコミュニティでの様々なボランティア活動を通して、ケア/ケアリングの要素である思いやりや信頼、奉仕(サービス)の精神を学ぶ。本科目は、また、個人の尊厳を守る行為、ケア/ケアリングをより専門的なレベルへと高める看護専門科目への関心を深める役割も持つ。

*本科目は各自自主的にボランティアを実施したのち、各自の学びをプレゼンテーションによって他の学生と共有します。

学修の到達目標

ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連

- 1) ボランティアを実践する
- 2) コミュニティでの様々な人間関係、価値観に触れる
- 3) 個人の尊厳を守る行為の意味を体感する
- 4) 奉仕の精神を持ってケア/ケアリングを実践し、感謝、喜びを実感する

- ◎ 1. いのちの尊重・倫理の本質
2. 地域の人々との連帯・協働/ケア環境の構築

授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)

回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	ボランティアの精神 全体オリエンテーション	講義 <面接>	井手 信	全体オリエンテーション	
2	} ボランティア活動	臨地		1) office365のボランティアの項をチェックすること 2) 活動希望場所毎のオリエンテーションに参加 3) 事務部登録(田上さんへ) 4) 活動開始 5) (大学用)報告書作成—事務部へ	5時間
3		臨地			
4		臨地			
5		臨地			
6		臨地			
7	中間報告会	演習	井手 信	グループ毎のまとめ・プレゼンテーション	2時間
8	} ボランティア活動	臨地		6) 活動継続	5時間
9		臨地			
10		臨地			
11		臨地			
12		臨地			
13	臨地				
14	最終活動報告まとめ	演習	井手 信	グループ毎のまとめ、パワーポイント作成	3時間
15	最終活動報告会	演習		グループ毎のプレゼンテーション	

成績評価方法・基準

活動報告書50%、最終レポート50% (井手 信)

課題に対するフィードバック

提出された課題レポートおよび中間、最終報告会におけるグループごとのプレゼンテーションについては即時コメントを伝え、フィードバックする。

教科書

守本、河内、立石編：ボランティアのすすめ 基礎から実践まで ミネルバ書房

参考書・参考文献

M/マグレガー他：ボランティアガイドブック 共感主義ボランティア入門 誠信書房

オフィスアワー
学習相談
メッセージ
その他

オフィスアワー：水曜日 16：30～17：30
連絡先：2号館2F学院長室 (学生サポートスタッフは事務部 田上朝子さん)
メールアドレス：n-ide@stmaryacjp.onmicrosoft.com

*ボランティアを通してケア/ケアリングの要素を実感してください。ボランティアは人としての喜び、感謝の念を持って実践する双方向の体験です。
*コロナ感染症蔓延等にて1年次で単位取得に必要なボランティア実施時間数を終了することができない方は4年次までに実施し所定のプレゼンテーション、レポート提出により単位を修得することができます。

開設科目名	コミュニティ演習	科目コード	BSNLH106	開設期	1年前期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	演習
責任者	中村 和代	担当者	看護系教員		
授業の概要(授業の目的)					
コミュニティで生活する人々への関心を高めることを目的とし、地域で生活する人々との関係を通して、人々の持つ健康への願いや希望について考えることができる。また、人々の健康に向けた看護師としての使命を考えることができる。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) コミュニティで生活する人々に関心を持つことができる			◎ いのちの尊重・倫理的本質		
2) 地域の人々との協働・連帯について考えることができる					
3) 地域で生活する人々の持つ健康への願いや希望について考えることができる					
4) 人々の健康増進に向けた看護職としての使命について考えることができる					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等) ※ 対面授業、状況次第で遠隔授業					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	オリエンテーション 準備: 演習場所についての調査～決定。日時調整。 計画立案: 活動内容など立案	事前準備 <対面>	全員	訪問したいコミュニティまたは、地域(校区)について調べる(概況、年間行事など)。決定後、演習日時の調整、実施計画立案	5時間
2	実施: 奉仕の精神に基づく活動を通して考察する 地域でより良い生活を継続するための取り組み、多様な環境で生活する人々の健康への願いや希望等、地域の人々との関わりを通して学修する	演習 <対面>	全員	カトリックの愛の精神Iやコミュニケーション技術など既習学修と関連付けて取り組む 看護職・看護学生としての使命について考える	5時間
3					5時間
4					4時間
5	学びのまとめ/プレゼンテーションの準備 各自の学びを共有し、グループでまとめる	グループワーク <対面>	全員	活動を通して考察した内容をまとめる。	5時間
6	発表: プレゼンテーション 意見交換 学修内容について発表および意見交換する	全体発表 <対面>	全員	発表準備	4時間
7					4時間
8	まとめ: 演習を通じた学び・今後の継続に向けて	まとめ <対面>	全員	演習や発表を通して学修したことを整理	3時間
成績評価方法・基準	レポート: 60% (各担当教員) A4用紙、横書き 40字×30行、2000字程度で記述する。 テーマ: 「地域で生活する人々の持つ健康への願いや希望、人々の健康に向けた看護師としての使命」について 演習やグループワークへの取り組み姿勢: 40% (評価者: 各担当教員)				
課題に対するフィードバック	グループワークや全体の発表の中でフィードバックします。				
教科書	特になし				
参考書・参考文献	特になし				
オフィスワーカー 学習相談 メッセージ その他	各担当教員のオフィスワーカーをご確認ください。 関心のある地域について調べ、主体的に演習に臨みましょう。年間行事計画など確認し早めに、活動日時を相談しましょう。 コミュニケーション技術での学修を実践に活かしてみよう。 その他: この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です				

開設科目名	芸術	科目コード	BSNLH107	開設期	1年後期
単位数(履修区分)	1単位(選択)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	平田孝子	担当者	平田孝子		
授業の概要(授業の目的)					
<p>本科目においては、人間と芸術の関わり、芸術の果たす役割について学ぶ。特に音楽を通して、いのちの躍動感や自己を表現する力を養い、学生自身の人間としての感性と想像力をより豊かなものにするを目的とする。</p>					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) 各行事で歌われる歌や、心の糧となる聖歌を聴く。				いのちの尊重・倫理的本質	
2) クラシック音楽に興味を持ち、聴きかけを作る。					
3) よりよく生きるために、ストレスを解消するきっかけを掴むことができる。					
4) 音楽と医療・看護との関わりを理解する。					
5) 人間にとってなぜ芸術が必要なのか、芸術を通して得られるものが何であるか理解する。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	①芸術とは何か ②歌 ③音楽鑑賞	講義 <面接>	平田	復習: 歌の鑑賞、 芸術とは何かについてリアクションペーパー作成	4時間
2	①音楽史概要 ②歌 ③音楽鑑賞	講義 <面接>	平田	復習: 歌の鑑賞、 音楽史の中のテーマについてリアクションペーパー作成	4時間
3	①雪の聖母聖堂 ②歌 ③カガンの音楽鑑賞	講義 <面接>	平田	復習: 歌の鑑賞、 雪の聖母聖堂についてリアクションペーパー作成	4時間
4	①コロナ禍での音楽 ②歌 ③音楽鑑賞	講義 <面接>	平田	復習: 歌の鑑賞、 コロナ禍での芸術についてリアクションペーパー作成	4時間
5	①現代の聖歌 ②歌 ③DVD鑑賞	講義 <面接>	平田	復習: 歌の鑑賞、 現代の聖歌についてリアクションペーパー作成	4時間
6	①音楽療法 ②歌 ③音楽鑑賞	講義 <面接>	平田	復習: 歌の鑑賞、 音楽療法についてリアクションペーパー作成	4時間
7	①クリスマスにまつわる芸術 ②歌 ③音楽鑑賞	講義 <面接>	平田	復習: 歌の鑑賞、 クリスマスの芸術についてリアクションペーパー作成	4時間
8	①人間の表現力 ②歌 ③DVD鑑賞	講義 <面接>	平田	復習: 歌の鑑賞、 総合芸術についてリアクションペーパー作成	4時間
成績評価方法・基準	①授業毎のリアクションペーパー作成40%(平田) ②授業最終日に提示する課題に基づくレポート作成60%(平田)				
課題に対するフィードバック	・授業中に聴いた歌の復習 ・提出されたリアクションペーパーに対しコメントを次回授業の最初に伝える				
教科書	特になし				
参考書・参考文献	特になし				
オフィス 学習相談 メッセージ その他	平田孝子(非常勤) 質問、相談等には、授業終了後、リアクションペーパーに追記すること				

開設科目名	心理学	科目コード	BSNLH108	開設期	1年前期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	穴井千鶴	担当者	穴井千鶴		
授業の概要(授業の目的)					
人間の尊厳の尊重を基盤に、人のいのちの始まりから高齢期に至るまでの一生涯を発達のプロセスとしてとらえ、各ライフステージにおけることと身体の成長、アイデンティティの形成、社会適応に影響を及ぼす要因について心理学の理論を用いて探求する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 心理学の基本的な知識を学修し、理論やモデルを理解できる。			いのちの尊重・倫理的本質		
2. 心理学の先行研究における実験的手法や調査方法を理解することができる。					
3. 臨床心理学の視点から、心の健康とストレス対処について理解することができる。					
4. 患者の心理について考えることができる					
5. 適応システムとしての人間について理解できる					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	序. 生涯人間発達論の諸理論(エリクソンの漸成的発達理論を中心に) I. 乳児期の発達課題と危機「基本的信頼感対不信感」	講義 <対面>	穴井	教科書 序章、第I章の予習復習	2時間
2	II. 幼児前期の発達課題と危機「自律対恥・疑惑」 III. 幼児後期の発達課題と危機「自発性対罪悪感」	講義 <対面>	穴井	教科書 第II章、III章の予習復習	4時間
3	IV. 学童期の発達課題と危機「勤勉性対劣等感」	講義 <対面>	穴井	教科書 第IV章の予習復習	4時間
4	V. 思春期の発達課題と危機「自己中心性対孤独感」	講義 <対面>	穴井	教科書 第Vの予習復習	4時間
5	VI. 青年期の発達課題と危機「同一性対役割の混乱」 (追加) 社会適応と不適応(欲求について)	講義 <対面>	穴井	教科書 第VI章の予習復習 配布資料の予習復習	4時間
6	VII. 成人前期の発達課題と危機「親密性対孤立感」 (追加) ストレスのメカニズムとコーピング	講義 <対面>	穴井	教科書 第VII章の予習復習 配布資料の予習復習	4時間
7	VIII. 成人中期の発達課題と危機「生殖性対停滞性」 IX. 成熟期の発達課題と危機「同一性再確立対消極性」	講義 <対面>	穴井	教科書 第VIII章、IX章の予習復習	4時間
8	X. 成人後期の発達課題と危機「統合性対絶望感」	講義 <対面>	穴井	教科書 第X章の予習復習	4時間
成績評価方法・基準	講義参加の態度 10% 講義レポート 90% 合計得点 100点(すべて科目責任者が評価)				
課題に対するフィードバック	課題は、授業中に集め、次回の講義でフィードバックする。				
教科書	生涯人間発達論 人間への深い理解と愛情を育むために 第3版 服部祥子著 2020年 医学書院				
参考書・参考文献	必要に応じて講義内で紹介する				
オフィスワーク 学習相談 メッセージ その他	穴井千鶴(非常勤) オフィスワーク: 講義終了後の一定時間を当てます。 学習相談: 講義終了後の一定時間を当てます。 メッセージ: 医療の現場に心理学がどのように役立つかを一緒に考えてみましょう。				

開設科目名	人間関係論	科目コード	BSNLH109	開設期	1年 前期
単位数（履修区分）	1 単位（選択）	時間数	1 5 時間	授業区分	講義
責任者	園田 貴章	担当者	園田 貴章		
授業の概要（授業の目的）					
保健・医療・福祉の臨床現場においては、多様な問題が発生し、それらを他者と綿密に連携しながら、問題解決を図ることが求められる。本科目では、他者と円滑な対人関係を築くとともに、多職種と協働して目標達成を実現するために必要な人間関係の理論や目標達成に導くためのリーダーシップについて学修する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 看護における人間関係の必要性を理解することができる。			いのちの尊重、倫理的本質		
2. 医療における人間関係についての基本的知識とスキルを習得できる。					
3. コミュニケーションの理論と実際について習得できる。					
4. チームワークを支える心理的基盤とリーダーシップの原理について理解できる。					
5. 医療現場の人間関係に関する適応について考えることができる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	人間関係と対人認知	講義(面接)	園田	テキストの1, 2章	1時間
2	パーソナリティとコミュニケーション	講義(面接)	園田	テキストの3, 4章	1時間
3	感情と葛藤	講義(面接)	園田	テキストの5, 6章	1時間
4	ストレスと援助行動	講義(面接)	園田	テキストの7, 8章	1時間
5	カウンセリング的アプローチ	講義(面接)	園田	テキストの9, 10章	1時間
6	動機づけとリーダーシップ	講義(面接)	園田	テキストの11, 12章	1時間
7	コーチングと集団	講義(面接)	園田	テキストの13, 14章	2時間
8	人間関係を難しくする障害及び試験についての説明	講義(面接)	園田	テキストの15章	1時間
成績評価方法・基準	定期試験（80％）、課題レポート（20％）				
課題に対するフィードバック	・講義最終日に講義の総評や今後の学習アドバイスをを行う				
教科書	山蔦圭輔・本田周二著『メディカルスタッフのための基礎からわかる人間関係論』、南山堂、2021年				
参考書・参考文献	特になし				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ	園田貴章（非常勤） 質問、相談等には、授業終了後、教室にて受け付けます。 その他メッセージ等があればご記入ください				

開設科目名	社会学	科目コード	BSNLH110	開設期	1年前期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	泉賢祐	担当者	泉賢祐		
授業の概要(授業の目的)					
人間は社会とのかかわりの中で生活をしている。その人間を理解するためには、個体としての個人を理解するとともに、社会的存在としての個人を理解することが重要である。看護者として、社会学的視点を身につけることにより、社会的存在としての生活者を理解する。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) 社会学の基礎概念を学び、理解することができる。				いのちの尊重・倫理的本質	
2) 保健医療と社会学の関係について理解することができる。					
3) 保健医療と家族や地域社会等との関係について理解することができる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	社会学とは 社会学の成立と発展 保健医療社会学の内容 等	講義 <面接>	泉	予習は社会学の意義(序章)を読んでおく。 復習はノートにまとめておくこと。	4時間
2	社会学の基礎概念 社会的行為、社会関係とはなにか 集団類型、全体社会、社会変動とはなにか 等	講義 <面接>	泉	予習は社会学の基礎概念(第1章)を読んでおく。復習はノートにまとめておくこと。	4時間
3	社会学的視点 合意とコンフリクトとはなにか 構造と解釈及び過程とはなにか 等	講義 <面接>	泉	予習は社会学的視点とモデル(第2章)を読んでおく。復習はノートにまとめておくこと。	4時間
4	保健医療と社会学 社会関係資本とはなにか 社会システムとしての医療 等	講義 <面接>	泉	予習は保健医療と社会学(第3章)を読んでおく。復習はノートにまとめておくこと。	4時間
5	健康・病気の社会格差 健康・病気の社会格差の諸相 社会格差による健康格差のメカニズム 等	講義 <面接>	泉	予習は健康・病気の社会格差(第6章)を読んでおく。復習はノートにまとめておくこと。	4時間
6	労働と健康・病気 職業とはなにか 仕事と生活の調和 等	講義 <面接>	泉	予習は労働と健康・病気(第7章)を読んでおく。復習はノートにまとめておくこと。	4時間
7	性・ジェンダー・家族と保健医療 多様化する性の概念 結婚と家族 等	講義 <面接>	泉	予習は性・ジェンダー・家族と保健医療(第11章)を読んでおく。復習はノートにまとめておくこと。	4時間
8	地域社会と保健医療 コミュニティと地域 地域の保健力 等	講義 <面接>	泉	予習は地域社会と保健医療(第12章)を読んでおく。復習はノートにまとめておくこと。	4時間
成績評価方法・基準	・定期試験 100%(泉)				
課題に対するフィードバック	・課題の出題意図の説明を講義中に行う、または後日掲示等する。 ・講義最終日に講義の総評や今後の学習アドバイスを行う。				
教科書	石川ひろの・進藤雄三・山崎喜比古『系統看護学講座 基礎分野 社会学』医学書院 2012年				
参考書・参考文献	アンソニー・ギデンズ『社会学 第五版』而立書房 2009年				
ワイアア 学習相談 メッセージ その他	・質問、相談等には、授業終了後、教室にて受け付けます。 ・日常の社会の中で起こる様々な出来事に関心を持ち、それは何なのか、なぜなのかを考える習慣をつけてください。 ・この科目は、社会学の応用分野である社会福祉学の研究及び実践の視点から、社会の諸問題について解説します。				

開設科目名	教育原論	科目コード	BSNLH111	開設期	1年後期
単位数(履修区分)	1単位(選択)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	高田熱美	担当者	高田熱美		
授業の概要(授業の目的)					
<p>本科目では教育の本質を理解し全人教育を唱えてきた思想家たちの教育目的や方法を学ぶ。教育とは教育されるものの内にある「生育の可能性・陶冶性」を前提として、個人的な人間関係における意図的な働きであると理解した上で、対象者に関わることを学ぶ。</p>					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 教育という人間にとって普遍的な現象を「生成」という観点から理解できる。			いのちの尊重・倫理的本質		
2) 「生成」とは、「生き」「育つ」「学ぶ」の3つであることを理解できる。					
3) 教育とは何であるか、説明できる					
4) 教育はいかにして為されるか、説明できる。					
5) 正しい教育とはいかなるものであるか、説明できる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	子どもの誕生	講義 <面接>	高田	事前にテキストを読むこと(1章の1)	4時間
2	ヒトの育て	講義 <面接>	高田	事前にテキストを読むこと(1章の2)	4時間
3	教育の可能性	講義 <面接>	高田	事前にテキストを読むこと(1章の3)	4時間
4	食の教育論	講義 <面接>	高田	事前にテキストを読むこと(第二部の1章)	4時間
5	眠りの教育論	講義 <面接>	高田	事前にテキストを読むこと(第二部の2章)	4時間
6	浴の教育論	講義 <面接>	高田	事前にテキストを読むこと(第二部の3章)	4時間
7	花の教育論	講義 <面接>	高田	事前にテキストを読むこと(第二部の4章)	4時間
8	まとめ	講義 <面接>	高田	テキストとノートをもう一度読んでおく	4時間
成績評価方法・基準	①レポート85% (高田) ②受講態度15% (高田)				
課題に対するフィードバック	前回の課題について、授業の時に指名し、口頭発表を求められることがある				
教科書	高田熱美『教育の生成』学術図書出版社 2021年				
参考書・参考文献	参考書：中野桂子『ラッセル幼児教育学研究』中川書店 2016年				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	<p>高田熱美(非常勤) 授業終了後に教室で質問を受け付けます 私語をせず、静かに聴講すること。そうすれば理解が進みます。 この科目は私の研究書「教育の生成」「学びの生成」等を基礎にして構成されています。</p>				

開設科目名	多様性の尊重	科目コード	BSNLH112	開設期	1年前期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	FORTIN, Eric	担当者	FORTIN, Eric; 秦野 環		
授業の概要(授業の目的)					
世界には、国、民族、地方、宗教など多様な文化が存在している。他者対話し交流するためには、はじめに相手を理解することが必要である。理解することは、お互いに尊敬し尊厳を持つことから始まり、お互いの文化や考え方に共感することも同じである。本科目においては、学生は相互理解と多様性を尊重する方法について学ぶ。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1. 文化を構成する要素を含め「文化とは何か」を理解し説明できる				いのちの尊重・倫理的本質	
2. 世代、地域などにより尊重される文化があることを理解し説明できる					
3. 「文化を尊重する」とはどのようなことを理解し説明できる					
4. 文化や慣習が人々の健康にも影響を与えることを理解し、具体例を説明できる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	文化とは何かについて考える、見ることができる文化と隠れている文化	講義 〈面接〉	FORTIN	予習: 「文化とは何か」、書籍やインターネットを活用し、調べておく	4時間
2	多様性の態度・行動の尊重	講義 〈面接〉	FORTIN	復習: 文化とは何か 予習: 日本の文化・伝統の歴史と意味を考えて調べておく	4時間
3	多様性の宗教の尊重	講義 〈面接〉	FORTIN	復習: 日本の文化・伝統 予習: 世界の宗教の興味あるところに関し調べておく	4時間
4	文化の「実例活動」の観察と思考・批評	講義 〈面接〉	FORTIN	復習: 1回・2回・3回の授業のプリントなど	4時間
5	アジアの伝統医療と看護	講義 〈面接〉	秦野	アジアの興味あるところに関し調べておく	4時間
6	映画鑑賞し、差別と偏見について学び、看護に求められていることを学ぶ(1)	講義と 視聴覚教材 〈面接〉	秦野	① HIV/エイズに感染するってどういうことだろうか? ② 同性愛ってどういうことだろうか、を考えておく	4時間
7	映画鑑賞し、差別と偏見について学び、看護に求められていることを学ぶ(2)	講義と 視聴覚教材 〈面接〉	秦野	① HIV/エイズに感染するってどういうことだろうか? ② 同性愛ってどういうことだろうか、を考えておく	4時間
8	まとめ、世界の文化を振り返る	講義 〈面接〉	FORTIN	予習: 第1回～第7回までの講義を振り返っておく	2時間
成績評価方法・基準	期末試験: 40% (Fortin), 20% (秦野); 文化のプロジェクト"Japanese Cultural Traditions" レポート: 40%				
課題に対するフィードバック	授業中に提示した課題に対しては学年の office365 メールでフィードバックを行う				
教科書	特になし				
参考書・参考文献	参考となる文献、各団体(政府組織、国連組織、関係ある NGO など)のホームページなどを適時紹介します。				
オフィスワー 学習相談 メッセージ その他	Eric Fortin, 研究室 6号館2階、L621 オフィスワー 水曜日、16時30分～17時30分、 質問、意見などは、オフィスワーに関係なく、office365を活用し、メールでご連絡ください。				

開設科目名	人間と法(日本国憲法)	科目コード	BSNLH113	開設期	1年後期
単位数(履修区分)	2単位(選択)	時間数	30時間	授業区分	講義
責任者	上村一則	担当者	上村一則		

授業の概要(授業の目的)

本講義では、憲法に関する社会問題を掘り下げて、憲法の仕組みを明らかにする。これを通じて、憲法の基本原理である基本的人権の尊重、平和主義、国民主権が私たちの生活に具体的にどのように実現されているか、あるいは、どのような問題を残しているかを、自らの問題として身近に考え、責任ある市民として行動できるようになることを目的とする。

学修の到達目標

DP(学位授与の方針)との関連

- 近代法は、個別具体的な問題について自らよく考え判断し自己決定できる人間像を前提にすることを理解できる。
- 憲法の基本的な価値観が、そのような人間の自己決定権にあることを理解できる。
- 憲法との関係で身近な法律の大まかな仕組みを理解し、自己決定権との関係で、全体を説明できる。
- 人権に関する身近な具体的諸事例を適切に分析し、法を当てはめることができる。
- 実際に裁判で争われた人権に関する事例を、自分の問題としてとらえて、考察し議論することができる。
- 人権とその制約原理を理解し、説明することができる。
- 国家の統治機関の基本的な原理を理解し、機関相互の関係を適切に説明することができる。
- 日頃のニュースに目を向け、人権に関する社会問題に興味をもち、憲法の知識を自らの身近な問題に応用できる。

いのちの尊重・倫理の本質

授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)

回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	国家と社会、日本国憲法と自己決定権	講義 <面接>	上村	予習：配布されたレジュメと教科書の該当箇所を読んでおく 復習：webクラスの確認テスト10問を解く	4時間
2	国家と犯罪・刑罰	講義 <面接>	上村	予習：配布されたレジュメと教科書の該当箇所を読んでおく 復習：webクラスの確認テスト10問を解く	4時間
3	憲法31条と刑事裁判	講義 <面接>	上村	予習：配布されたレジュメと教科書の該当箇所を読んでおく 復習：webクラスの確認テスト10問を解く	4時間
4	自己決定権と安楽死の諸事例	講義 <面接>	上村	予習：配布されたレジュメと教科書の該当箇所を読んでおく 復習：webクラスの確認テスト10問を解く	4時間
5	国家と市民生活	講義 <面接>	上村	予習：配布されたレジュメと教科書の該当箇所を読んでおく 復習：webクラスの確認テスト10問を解く	4時間
6	憲法29条と民事裁判	講義 <面接>	上村	予習：配布されたレジュメと教科書の該当箇所を読んでおく 復習：webクラスの確認テスト10問を解く	4時間
7	自己決定権と未成年者の人権・保護	講義 <面接>	上村	予習：配布されたレジュメと教科書の該当箇所を読んでおく 復習：webクラスの確認テスト10問を解く	4時間
8	自己決定権と消費者保護	講義 <面接>	上村	予習：配布されたレジュメと教科書の該当箇所を読んでおく 復習：webクラスの確認テスト10問を解く	4時間
9	平和主義	講義 <面接>	上村	予習：配布されたレジュメと教科書の該当箇所を読んでおく 復習：webクラスの確認テスト10問を解く	4時間
10	国民主権と統治機関(三権分立)	講義 <面接>	上村	予習：配布されたレジュメと教科書の該当箇所を読んでおく 復習：webクラスの確認テスト10問を解く	4時間
11	基本的人権とその制約原理、新しい人権(憲法13条)	講義 <面接>	上村	予習：配布されたレジュメと教科書の該当箇所を読んでおく 復習：webクラスの確認テスト10問を解く	4時間
12	精神的自由権・経済的自由権とその制約	講義 <面接>	上村	予習：配布されたレジュメと教科書の該当箇所を読んでおく 復習：webクラスの確認テスト10問を解く	4時間
13	生存権・教育権とその制約	講義 <面接>	上村	予習：配布されたレジュメと教科書の該当箇所を読んでおく 復習：webクラスの確認テスト10問を解く	4時間
14	自己決定権と納得診療・QOLの諸問題	講義 <面接>	上村	予習：配布されたレジュメと教科書の該当箇所を読んでおく 復習：webクラスの確認テスト10問を解く	4時間
15	宗教的理由による輸血拒否事件の検討	講義 <面接>	上村	予習：配布されたレジュメと教科書の該当箇所を読んでおく 復習：webクラスの確認テスト10問を解く	4時間

成績評価方法・基準	筆記試験の結果（80％）と、web クラス上の確認テストの受験を含めた受講態度（20％）で総合的に判断します。今後新型コロナウイルスの影響ですべてオンライン授業に切り替わった場合、評価方法の変更がありえますので、改めてご案内します。いずれも科目責任者が評価を行います。
課題に対するフィードバック	Web クラスで毎回の基礎知識を確認するテストを設定期限内に取り組んでください。回答すると解説が出るようにしています。判例を検討した場合は、各自の意見も書いてもらいます。
教科書	松井茂記・松宮孝明・曾野裕夫著『はじめての法律学—HとJの物語』（有斐閣アルマ）
参考書・参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・初宿正典他著『いちばんやさしい憲法入門』（有斐閣アルマ） ・なお、教科書を基にしたワークブックを作成する予定です。教務課の案内に従って、教科書とともに入手してください。
<p>オンライン 学習相談 メッセージ その他</p>	<p>上村一則（非常勤） WEB クラスのメールで、随時質問を受け付けています。講義に関する質問などがありましたらご遠慮なくどうぞ。 uemura_kazunori@kurume-u.ac.jp に送っていただいてもいいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業では、現在世の中で起きていることに関連付けて説明することが多いので、できるだけ、新聞などに興味を持って目を通す習慣をつけてください。 ・講義名が示すように、法から人間を見るのではなく、人間から法を見る視点を大事にしたいと思います。国家とは何か、人権とは何か、大人として、自分の頭で考える力を身に付けましょう。

開設科目名	生物学	科目コード	BSNLH114	開設期	1年前期
単位数(履修区分)	1単位(選択)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	芋川浩	担当者	芋川浩		

授業の概要(授業の目的)

健全な生命観、地球生態系に生きる基本的態度を学ぶ。生物学の役割を考える。動物の行動原理や生得的行動型、学習と遺伝とを理解したのち、人体の構造の歴史性から体の不都合や病気について考える。また、社会に生きるヒトの適応の生物学を学ぶ。

学修の到達目標

ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連

- 1)生命の基本単位である細胞とその機能について理解することができる。
- 2)生物体の誕生と、ヒトのからだの構造とその機能について理解することができる。
- 3)からだを守る免疫反応について理解することができる。
- 4)中枢神経系の構成とその機能などについて理解することができる。
- 5)がんをはじめとした病気や疾患などについて理解することができる。
- 4)ヒトの高次機能など生命の神秘などについて発見・理解することができる。

医療の基礎 / ROI適応看護モデル

授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)

回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	オリエンテーションとして、①これからの講義内容、②成績評価方法、③教科書や参考文献の紹介、④出席や質問の取り方などを説明し、今後の講義にスムーズ入れるようにする。 初回の講義内容としては、①生命とは何か、②細胞とは何かなどについて学習する。	講義 <面接>	芋川	生命とは何か、細胞とは何かを教科書の p.8~p.22 を読み、予習すること。 初回の講義(生命や細胞)についての講義内容およびその質問や問題点を各自で確認・整理する。もし各自で質問や問題点等を解決できないときは、次の講義などで質問できるようにまとめておく。	4時間
2	生命の誕生の基本として、受精のメカニズムやそこにある神秘について解説する。	講義 <面接>	芋川	一細胞としての生命誕生の瞬間について教科書の p.41~p.47 を読み、予習すること。 小テストの復習に加え、生命誕生等についての講義内容およびその質問や問題点を各自で確認・整理する。もし各自で質問や問題点等を解決できないときは、次の講義などで質問できるようにまとめておく。	4時間
3	からだの構造を理解する基本として、からだづくりやその発生現象について解説する。	講義 <面接>	芋川	発生現象について教科書の p.48~p.56 を読み、予習すること。 小テストの復習に加え、発生過程・発生現象等についての講義内容およびその質問や問題点を各自で確認・整理する。もし各自で質問や問題点等を解決できないときは、次の講義などで質問できるようにまとめておく。	4時間
4	からだの構造をさらに深く理解することを目的として、からだづくりの知られざる神秘について解説する。	講義 <面接>	芋川	からだづくりの神秘に関する教科書の p.57~p.75 を読み、予習すること。 小テストの復習に加え、からだづくりの神秘・ホメオボックス遺伝子などについての講義内容およびその質問や問題点を各自で確認・整理する。もし各自で質問や問題点等を解決できないときは、次の講義などで質問できるようにまとめておく。	4時間
5	ヒトのからだを守る生体防御機構である免疫反応について解説する。	講義 <面接>	芋川	生体防御機構としての免疫反応に関する教科書の p.76~p.87 を読み、予習すること。 小テストの復習に加え、生体防御機構としての免疫反応についての講義内容およびその質問や問題点を各自で確認・整理する。もし各自で質問や問題点等を解決できないときは、次の講義などで質問できるようにまとめておく。	4時間

6	がんとは何か？について、がん遺伝子や発がんのメカニズムなどを中心に解説する。	講義 〈面接〉	芋川	がんに関する教科書の p.88~p.105 を読み、予習すること。 小テストの復習に加え、がん遺伝子や発がんのメカニズムなどについての講義内容およびその質問や問題点を各自で確認・整理する。もし各自で質問や問題点等を解決できないときは、次の講義などで質問できるようにまとめておく。	4 時間
7	ヒトの中枢神経系の構成とその機能などについて解説する	講義 〈面接〉	芋川	神経系に関する教科書の p.108~p.120 を読み、予習すること。 小テストの復習に加え、ヒトの中枢神経系の構成とその機能などについての講義内容およびその質問や問題点を各自で確認・整理する。もし各自で質問や問題点等を解決できないときは、次の講義などで質問できるようにまとめておく。	4 時間
8	ヒトはどうして老化するのか？また、ヒトはどうして死んでいくのか？という老化と寿命について解説する。さらに、最後の講義であるため、これまでの講義のまとめなど総復習も行う。	講義 〈面接〉	芋川	老化と寿命などに関する教科書の p.122~p.135 を読み、予習すること。 小テストの復習に加え、老化と寿命などについての講義内容およびその質問や問題点を各自で確認・整理する。もし各自で質問や問題点等を解決できないときは、講義以外の時間でも質問できるようにまとめておく。	4 時間

成績評価方法・基準	筆記試験 100% (芋川) (授業にはきちんと出席していること)
課題に対するフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・次の講義の初めに前回の学習課題の確認テスト(小テスト)を行い、講義内に確認テスト(小テスト)の解答解説を行う。講義中に、確認テスト(小テスト)や前回の学習についての質疑応答を行い、学習の理解の成果として、次の講義等でフィードバックされる。 ・講義最終日に講義の総評や今後の学習アドバイスをを行う。
教科書	ライフサイエンス 生命の神秘 (芋川 浩著、木星舎出版)
参考書・参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・講義資料：パワーポイントによる講義プリントを各講義前に配布予定(パワーポイントによる講義プリントは芋川浩作成) ・参考文献：細胞の分子生物学 第6版 (Newton Press)
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	<p>芋川 浩 (非常勤) imokawa@fukuoka-pu.ac.jp</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問等は随時受け付ける。また、スマートフォンや携帯電話による出席システムを利用した質問コーナーへの入力による質問および上記電子メールでも対応する。 ・講義への参加度などを重視するため、スマートフォンや携帯電話等で出席や質問などをとることがあるので、履修条件としては、スマートフォンや携帯電話等を持っていることが必要である。 ・自然や動植物、生命現象等に常に興味をもち、いつも「なぜ？」「どうして？」という疑問をもつ気持ちを絶えず持ちながら、生命の神秘不思議を感じ取ってみよう！ ・第1-3回については、「四肢再生やレンズ再生」「形態形成」の研究成果を一部参照して、講義を展開します。

開設科目名	生命化学	科目コード	BSNLH115	開設期	1 年前期
単位数 (履修区分)	1 単位 (選択)	時間数	1 5 時間	授業区分	講義、実験、演習
責任者	井手悠一郎	担当者	井手悠一郎		
授業の概要 (授業の目的)					
生命化学について学ぶことで、遺伝子から生体が形作られていることを学ぶ。また化学的思考の基礎を学ぶことで、これからの人生におけるものの見方の幅を一つ増やすことも目的としている。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1. 化学的思考法の基礎を身につける				ケアリング/科学的思考と問題解決能力	
2. インターネットや図書より必要な文献・情報を収集し、利用することができる					
3. 社会において問題とされる事象について考え、解決に向けた方策を考えることができる					
4. 提示されたテーマについて、メンバーと協働して意欲を持って取り組むことができる					
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	DNA とタンパク質	講義(面接)	井手	事前配布資料の予習、講義内容の復習	4 時間
2	遺伝子組換技術	講義(面接)	井手	事前配布資料の予習、講義内容の復習	4 時間
3	DNA 抽出技術	個人ワーク(面接)	井手	与えられたテーマについての情報収集、授業外レポートの実施 (分析活動)	4 時間
4	DNA 抽出実験 (231 教室)	実験(面接)	井手	実験内容の復習、授業外レポートの実施 (各自飲用可能な水を持参してください)	4 時間
5	遺伝子工学における諸問題	講義、GW(面接)	井手	与えられたテーマについての情報収集、分析活動、発表資料の作成	4 時間
6	グループワーク	GW(面接)	井手	与えられたテーマについての情報収集、分析活動、発表資料の作成	4 時間
7	発表① (PC 室)	発表(面接)	井手	他グループの発表内容の評価、関連内容についての学習	3 時間
8	発表② (PC 室)	発表(面接)	井手	他グループの発表内容の評価、関連内容についての学習	3 時間
成績評価方法・基準	①小レポート (第 1、2 回) 20% ②実験レポート (第 3、4 回) 30% ③グループワークの取組み (第 5、6 回) 20% ④プレゼンテーション (第 7、8 回) 30% 全て科目責任者が評価を行います。				
課題に対するフィードバック	発表資料およびレポートは配布する評価基準により評価を行います。 評価結果については WebClass で確認できるようにします。				
教科書	指定なし				
参考書・参考文献	文献検索ガイド (聖マリア学院大学図書館) 上記のほか適宜参考文献を紹介します。				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	授業計画として DNA 抽出実験を予定しておりますので、履修選択に際してはあらかじめご承知おきください。 井手悠一郎 (6 号館 2 階 井手悠一郎研究室)、オフィスアワー：火曜 16：00～17：00 ※重複をさけるため、事前に予約をすること。また上記時間帯以外に訪問したい場合は事前予約をすること、 メール等での質問も可 (アドレスは Office 365 を参照してください) ICT 活用：小レポート・実験レポート、発表ファイルの提出および GW における相互評価は WebClass 上で行います。また各レポートについて、手書にて作成した場合は、Office Lens 等にて撮影を行って提出してください (PDF 形式)。				

開設科目名	人体の構造と機能入門	科目コード	BSNLH116	開設期	1年前期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	演習
責任者	小浜さつき	担当者	日高艶子、崎田マコミ、鶴田明美、小浜さつき、石本祥子他		
授業の概要(授業の目的)					
人の日常生活行動の中で、呼吸すること、食べること、排泄すること、動くこと、眠ることに関する人体の構造と機能について、ケース・スタディやシミュレーター、また実際に自らが体験することにより学修する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 呼吸することに関する人体の構造と機能を説明できる。			医療の基礎/ロイ適応看護モデル		
2. 食べることに関する人体の構造と機能を説明できる。					
3. 排泄することに関する人体の構造と機能を説明できる。					
4. 動くことに関する人体の構造と機能を説明できる。					
5. 眠ることに関する人体の構造と機能を説明できる。					
6. お風呂に入ることに関する人体の構造と機能を説明できる。					
7. 話すこと・聴くことに関する人体の構造と機能を説明できる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	ガイダンス:人体の構造と機能から見た私たちの日常生活	講義 <面接>	小浜	解剖生理学と看護の関連、日常生活から見た解剖生理学について考えてみる。 教科書①第1章p1-17、第12章p195-203、教科書②の「解剖学とは何か」を読んでくる。	4時間
2	食べる:「食べる」行為を通して自分の身体の動きを記述し、「食べる」ことに関する人体のしぐみを学修する。	講義・討論 実技 <面接>	日高 他	教科書①第5章「食べる」p109-p126を読み、事前学習をして参加する。講義終了後に学修内容をレポートにまとめて提出する。レポートの作成には、②の教科書を活用して、解剖構造を調べてみる。	4時間
3	呼吸をする:息を吸うこと、息をはくことを通して自分の身体の動きを記述し、呼吸に関与する人体のしぐみを学修する。	講義・討論 実技 <面接>	崎田 他	教科書①第6章「息をする」p127-137を読み事前学習をして参加する。講義終了後に学修内容をレポートにまとめて提出する。レポートの作成には、②の教科書を活用して、解剖構造を調べてみる。	4時間
4	排泄をする:自分の排尿、排便について観察し排尿と排便に関与する人体のしぐみを学修する。	講義・討論 実技 <面接>	石本 他	教科書①第7章「トイレに行く」p139-153を読み、自分の排尿と排便についてレポートをまとめ講義に出席する。講義終了後に学修内容をレポートにまとめて提出する。レポートの作成には、②の教科書を活用して、解剖構造を調べてみる。	4時間
5	動く:他者の歩行を観察し、歩くことに関与する人体のしぐみを学修する。	講義・討論 実技 <面接>	小浜 他	教科書①第4章「動く」p79-107を読み事前学習をして参加する。講義終了後に学修内容をレポートにまとめて提出する。レポートの作成には、②の教科書を活用して、解剖構造を調べてみる。	4時間
6	眠る:なぜ人は、眠くなるのか、眠ることに関与する人体のしぐみを学修する。	講義・討論 実技 <面接>	鶴田 他	教科書①第9章「眠る」p163-170を読み、自分の睡眠行動についてレポートをまとめ講義に出席する。講義終了後に学修内容をレポートにまとめて提出する。レポートの作成には、②の教科書を活用して、解剖構造を調べてみる。	4時間
7	お風呂に入る:皮膚の清潔を保つための人体の仕組みを学習する	講義 討論 実技 <面接>	小浜 他	教科書①第10章「お風呂に入る」p171-177を読み、自分の皮膚の状態や皮膚の清潔について事前学習をして参加する。講義終了後に学習内容をレポートにまとめて提出する。レポートの作成には、②の教科書を活用して、解剖構造を調べてみる。	4時間
8	話す・聴く:話すこと、聞くことに関与する人体の仕組みを学習する。 まとめ	講義・討論 実技 <面接>	日高 小浜 他	教科書①第8章「話す・聴く」p155-162を読み、事前学習をして参加する。講義終了後に学習内容をレポートにまとめて提出する。レポートの作成には、②の教科書を活用して、解剖構造を調べてみる。	4時間

成績評価方法・基準	① レポート10点×7項目：70点。②まとめのレポート：30点 合計100点 (評価者：10点のレポートは各講義の担当教員が評価します。最終日に記載したレポートは、科目責任者が評価します。)
課題に対するフィードバック	各回の講義終了後に提出していただいたレポートは各回担当の教員がコメントを付与して返却します。
教科書	① 看護形態機能学—生活行動からみるからだ—第4版 菱沼典子著 日本看護協会出版会、2017 ② 入門人体解剖学改訂第5版、藤田恒夫著、南江堂、2011 ③ 解剖生理学ワークブック2023 医学書院。
参考書・参考文献	① 日常生活活動の分析 身体運動学的アプローチ 医歯薬出版株式会社、第2版、2020。 ② 新しい人体の教科書、山科正平、上下巻、山科正平、講談社、2017。
<p>オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他</p>	<p>小浜さつき（2号館1階222研究室） オフィスアワー：火曜日 16：30-17：30 E-mail：obama@stmaryacjp.onmicrosoft.com 学習相談は随時受け付けます。レポートの提出場所、方法については後日お知らせします。</p> <p>日常生活を通して、これから学修を深めていく人体の構造と機能（解剖学や生理学）の理解を深めていきます。分からないことは自分で調べてみる、また教員に積極的に質問して解決していきましょう。</p> <p>本科目は、看護系の教員が教授する科目です。 ※研究業績との科目の関連はありませんが、各担当の先生方の研究成果を一部紹介することがあります。</p>

開設科目名	人体の構造と機能 I	科目コード	BSNLH117	開設期	1年前期
単位数 (履修区分)	2単位 (必修)	時間数	45時間	授業区分	講義
責任者	鶴崎政志	担当者	鶴崎政志		
授業の概要 (授業の目的)					
看護を実践する際に必要となる人体の構造と機能を知り、人間の生命現象がどのようなメカニズムで行われているかを学修する。そのため人体を構成する組織や器官などの形態と構造を理解し、人体全体の機能における各器官の働きを学修する。Iでは、総論、骨格系と筋系、循環器、血液系、呼吸器、消化器系を学修する。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) 各臓器の位置を説明できる。				医療の基礎/ロイ適応看護モデル	
2) 各臓器の構造の特徴を説明できる。					
3) 各臓器の役割を説明できる。					
4) 各臓器の具体的な機能を説明できる。					
5) 各臓器の機能の特徴を整理して説明できる。					
6) 臓器の機能障害と疾病との関係について述べる事ができる。					
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	総論：解剖学と生理学、器官系、組織・細胞の成立ち	講義<面接>	鶴崎	該当する講義プリントページを読んでおく。	1.5時間
2	体を動かすー1：骨格・骨の構造と役割	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
3	体を動かすー2：骨の構造と役割	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
4	体を動かすー3：全身の骨格筋	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
5	体を動かすー4：骨格筋の構造と収縮メカニズム	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
6	体を動かすー5：筋収縮の制御と関節運動	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
7	物質の移動ー1：循環器の構成・動脈の分布	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
8	物質の移動ー2：静脈の分布とリンパ管	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
9	物質の移動ー3：心臓の構造と機能・その評価方法	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
10	物質の移動ー4：血管の構造と機能	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
11	物質の移動ー5：特殊な循環・血圧調節機構	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
12	血液ー1：血液の組成と血球の形態	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
13	血液ー2：血球の分化と機能	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
14	血液ー3：血液の機能と免疫機能の概要	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
15	呼吸ー1：呼吸器の構成と外呼吸・内呼吸	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
16	呼吸ー2：胸郭の構造と換気運動	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
17	呼吸ー3：呼吸の調節、スパイロメトリー	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
18	消化器ー1：消化器の構成と消化管の構造	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
19	消化器ー2：口腔内消化、嚥下	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
20	消化器ー3：胃での消化と胃粘膜障壁	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
21	消化器ー4：小腸での消化と吸収	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
22	消化器ー5：大腸での吸収と排便	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
23	消化器ー6：エネルギー代謝と体温	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
成績評価方法・基準	筆記試験 (本試験 90 分) 100% (鶴崎)				
課題に対するフィードバック	試験終了後に模範解答を掲示する				
教科書	「人体の構造と機能 第5版」：佐藤昭夫、佐伯由香、原田玲子 編集、医歯薬出版				
参考書・参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・「トータル人体解剖生理学」：佐伯由香他 訳、丸善株式会社 ・「一目で分かる解剖学」：山内昭雄、桜木晃彦 訳、MEDSi (メディカル・サイエンス・インターナショナル) ・「ネッター 解剖生理学アトラス」：相磯貞和、渡辺修一 訳、南江堂 				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	鶴崎 政志 (非常勤) 質問、相談等は授業終了後、教室にて受け付けます。 また、別途、質問用メールアドレス：mtsurusaki@me.com (所属・名前必須) を有効活用してください。 講義内容を配布プリントを元にしっかり復習して、ノートを整理しておくこと。 この科目は大学で神経生理学を専攻・研究した教員が生理学及び関連する解剖学について教授する科目です。				

開設科目名	人体の構造と機能Ⅱ	科目コード	BSNLH118	開設期	1年後期
単位数(履修区分)	2単位(必修)	時間数	45時間	授業区分	講義
責任者	鶴崎政志	担当者	鶴崎政志		
授業の概要(授業の目的)					
看護を実践する際に必要となる人体の構造と機能を知り、人間の生命現象がどのようなメカニズムで行われているかを学修する。そのため人体を構成する組織や器官などの形態と構造を理解し、人体全体の機能における各器官の働きを学修する。Ⅱでは、神経系、内分泌系、感覚系、泌尿器系、生殖系を学修する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 各臓器の位置を説明できる。			医療の基礎/ロイ適応看護モデル		
2) 各臓器の構造の特徴を説明できる。					
3) 各臓器の役割を説明できる。					
4) 各臓器の具体的な機能を説明できる。					
5) 各臓器の機能の特徴を整理して説明できる。					
6) 臓器の機能障害と疾病との関係について述べる事ができる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	体を制御する-1: 神経細胞の種類と形態	講義<面接>	鶴崎	該当する講義プリントページを読んでおく。	1.5時間
2	体を制御する-2: 中枢神経系の構造	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
3	体を制御する-3: 脳の機能局在	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
4	体を制御する-4: 脊髄の構造と主な脊髄伝導路	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
5	体を制御する-5: 脊髄神経の走行とデルマトーム	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
6	体を制御する-6: 自律神経と臓器支配	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
7	体液性調節-1: 内分泌系の概要と一般的作用機序	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
8	体液性調節-2: 視床下部-下垂体系	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
9	体液性調節-3: 甲状腺、副腎	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
10	体液性調節-4: その他のホルモンと主な内分泌異常	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
11	情報を得る-1: 感覚の種類と受容器細胞、一般的性質	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
12	情報を得る-2: 感覚の伝導路	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
13	情報を得る-3: 特殊感覚の特徴と構造(1) 視覚	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
14	情報を得る-4: 特殊感覚の特徴と構造(2) 聴覚と前庭感覚	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
15	情報を得る-5: 特殊感覚の特徴と受容器の構造(3) 嗅覚と味覚	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
16	体液の恒常性-1: 泌尿器の構成と構造	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
17	体液の恒常性-2: ノロンノの構造と機能	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
18	体液の恒常性-3: 排尿のメカニズム	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
19	体液の恒常性-4: 体液の調節	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
20	子孫を残す-1: 生殖器の構造と遺伝情報	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
21	子孫を残す-2: 性周期とホルモン動態	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
22	子孫を残す-3: 胚葉の分化と胎児の成長、老化	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
23	子孫を残す-4: 胎児循環と先天性の循環器障害	講義<面接>	鶴崎	該当講義プリントページを元に復習する。	1.5時間
成績評価方法・基準	筆記試験(本試験90分)100%(鶴崎)				
課題に対するフィードバック	試験終了後に模範解答を掲示する				
教科書	「人体の構造と機能 第5版」: 佐藤昭夫、佐伯由香、原田玲子 編集、医歯薬出版				
参考書・参考文献	・「トトラ人体解剖生理学」: 佐伯由香他 訳、丸善株式会社 ・「一目で分かる解剖学」: 山内昭雄、桜木晃彦 訳、MEDSi(メディカル・サイエンス・インターナショナル) ・「ネッター 解剖生理学アトラス」: 相磯貞和、渡辺修一 訳、南江堂				
オフィスワーク・学習相談 メッセージ・その他	鶴崎 政志(非常勤) 質問、相談等は授業終了後、教室にて受け付けます。 また、別途、質問用メールアドレス: mtsurusaki@me.com(所属・名前必須)を有効活用してください。 講義内容を配布プリントを元にしっかり復習して、ノートを整理しておくこと。 この科目は大学で神経生理学を専攻・研究した教員が生理学及び関連する解剖学について教授する科目です。				

開設科目名	感染・生体防御論 I	科目コード	BSNLH119	開設期	1 年前期
単位数 (履修区分)	1 単位 (必修)	時間数	1 5 時間	授業区分	講義
責任者	野村秀一	担当者	野村秀一・黒岩中		
授業の概要 (授業の目的)					
微生物はヒトに感染症を引き起す。高齢化に伴う易感染者の増加や、環境破壊によるウイルス感染を主とした新興感染症の出現など、新しい感染症時代に対応できるように、微生物の特性、感染症の発症機序、感染症に対する免疫機構などを学修して、微生物のヒトへの影響と関わりを理解することを目的とする。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー (学位授与の方針) との関連		
1)自然界に存在し人体へ影響を及ぼす微生物 (医動物を含む) の種類と特性が理解できる。			医療の基礎/ロイ適応看護モデル		
2)微生物の感染に対するの生体の防御機構の概念が説明できる					
3)微生物感染に対応する処置や予防法について把握することが出来る。					
4)免疫弱者から日和見感染を防御する方法を考えることが出来る。					
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習 (学習課題)	取組時間
1	微生物	講義 <面接>	野村	予習:教科書の p4~12 を読んでおく。 復習:微生物の定義について	4 時間
2	細菌学総論:細菌の性質	講義 <面接>	野村	予習:教科書 p14~35 を読んでおく。 復習:細菌の基本構造・増殖・代謝について	4 時間
3	ウイルス総論:ウイルスの性質	講義 <面接>	野村	予習:教科書 p38~47 を読んでおく。 復習:ウイルスの構造・増殖・分類について	4 時間
4	真菌・原虫・の性質	講義 <面接>	野村	予習:教科書 p50~58、p316~332 を読んでおく。 復習:真菌・原虫・の生態・構造・特性について	4 時間
5	感染と感染症	講義 <面接>	野村	予習:教科書 p62~89 を読んでおく。 復習:感染様式・感染症の 3 要素について	4 時間
6	感染症の現状と対策	講義 <面接>	野村	予習:教科書 p174~191 を読んでおく。 復習:新興・再興感染症・院内感染症について	4 時間
7	感染に対する生体防御機構:免疫機構 ①	講義 <面接>	黒岩	予習:教科書 p92~120 を読んでおく。 復習:自然免疫・獲得免疫について	4 時間
8	感染に対する生体防御機構:免疫機構 ②	講義 <面接>	黒岩	予習:教科書 p120~124 を読んでおく。 復習:ワクチン・粘膜免疫について	4 時間
成績評価方法・基準	① 期末試験 90% ② 課題レポートあるいは小試験 10%				
課題に対するフィードバック	講義最終日に講義の総評や小試験の解説および今後の学修アドバイスを行う				
教科書	南嶋洋一ほか編 『系統看護学講座 専門基礎分野 微生物学』 13 版 医学書院				
参考書・参考文献	藤本秀士ほか編 『わかる! 身につく! 病原体・感染・免疫』 改訂 3 版 満山堂				
マイスター 学習相談 メッセージ その他	野村秀一・黒岩 中 (非常勤) 教務課メールアドレス (kyoumu@st-mary.ac.jp) へ 講義は主に自作の図表・スライドを用いて行うので、聴講態度や関心の意欲が問われる。 日常生活の中で起こる「感染症」に関心を持ち、学修して修得した知識を活用すること。				

開設科目名	感染・生体防御論Ⅱ	科目コード	BSNLH120	開設期	1年後期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	野村秀一	担当者	野村秀一・黒岩中		
授業の概要(授業の目的)					
感染・生体防御論Ⅰで学修して修得した微生物の知識を基に、ヒトに感染症を引き起こす微生物である病原体による感染症の実態とそれらに対する具体的な防御・予防法を学修する。特に易感染者である入院患者における院内での感染症の発症の予防・対策法を理解することを目的とする。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 感染症の主要感染源である各種細菌を説明できる。			医療の基礎/ロイ適応看護モデル		
2) 近年の感染症の主体である各種ウイルスを説明できる。					
3) 感染源の防御法、感染症の治療法を理解できる。					
4) 感染防御機構の負の側面を理解できる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	細菌学各論① グラム陽性菌、グラム陰性菌	講義 <面接>	野村	予習：教科書 p196～230を読む。 復習：代表的な細菌の性状について	4時間
2	細菌学各論② 抗酸菌、スピロヘータ、リッケチア、クラミジア	講義 <面接>	野村	予習：教科書 p230～255を読む。 復習：代表的な細菌の性状について	4時間
3	ウイルス学各論① ポックスウイルス科～フラビウイルス科	講義 <面接>	野村	予習：教科書 p258～285を読む。 復習：代表的なウイルスの性状について	4時間
4	ウイルス学各論② コロナウイルス科～プリオン	講義 <面接>	野村	予習：教科書 p285～304を読む。 復習：代表的なウイルスの性状、腫瘍ウイルスについて	4時間
5	真菌、原虫各論 深在性真菌からクリプトスポリジウム	講義 <面接>	野村	予習：教科書 p306～325を読む。 復習：代表的な真菌、原虫の性状について	4時間
6	感染症の治療：化学療法剤 抗菌剤、抗真菌剤、抗ウイルス剤	講義 <面接>	野村	予習：教科書 p150～172を読む。 復習：主な化学療法剤について	4時間
7	消毒、滅菌法：日和見感染症の予防	講義 <面接>	黒岩	予習：教科書 p126～136を読む。配布資料を参照 復習：消毒と滅菌法、と感染予防法について	4時間
8	生体防御の負の現象：過敏症、自己免疫など	講義 <面接>	黒岩	予習：参考書 p116117を読む。配布資料を参照 復習：生体防御負の現象、特に過敏症反応について	4時間
成績評価方法・基準	期末試験 90% 課題レポートあるいは小試験 10%				
課題に対するフィードバック	講義最終日に講義の総評や小試験の解説および今後の学修アドバイスを行う。				
教科書	南嶋洋一ほか編 『系統看護学講座 専門基礎分野 微生物学』 医学書院 13 版				
参考書・参考文献	参考書：小安重夫著『免疫学はやっぱりおもしろい』羊土社 2008、 参考書：病気がみえる⑥ 免疫・膠原病。感染症 第1版 メディックメディア				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	野村秀一・黒岩 中(非常勤) 教務課メールアドレス(kyoumu@st-mary.ac.jp)へ 講義は主に教科書のほか、自作の図表・スライドを用いて行うので、聴講態度や関心の意欲が問われる。 日常生活の中で起こる「感染症」に関心を持って生活し、学修して修得した知識を活用すること。				

開設科目名	栄養代謝学	科目コード	BSNLH121	開設期	1年後期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	井手悠一郎	担当者	井手悠一郎、立野順子		
授業の概要(授業の目的)					
<p>人体に必要な栄養素とその体内における働きについて学ぶ。 また食生活についても学修することで、現代における食生活の変化や疾患の誘因を理解し、後に学修する臨床栄養学の基礎を修得する。</p>					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) 人体に必要な栄養素の働きについて理解できる				医療の基礎/ロイ適応看護モデル	
2) 人体に必要な食事について理解できる					
3) 現代の食事の変化と疾患の誘因が理解できる					
4) 臨床現場での栄養指導について考察できる					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	栄養学と看護、栄養素の種類	講義 <面接>	立野	教科書①第1章、第2章を読んでおく	4時間
2	看護における計算問題、生化学の基礎、酵素	講義 <面接>	井手	事前配布資料を読んでおく	4時間
3	糖の吸収・代謝	講義 <面接>	井手	事前配布資料を読んでおく	4時間
4	アミノ酸、脂質の吸収・代謝	講義 <面接>	井手	事前配布資料を読んでおく	4時間
5	食事と食品	講義 <面接>	立野	教科書①第4章を読んでおく	4時間
6	栄養ケア・マネジメント、栄養状態の評価・判定	講義 <面接>	立野	教科書①第6章、第7章を読んでおく	4時間
7	ライフステージと栄養	講義 <面接>	立野	教科書①第8章を読んでおく	4時間
8	健康づくりと食生活	講義 <面接>	立野	教科書①第9章を読んでおく 教科書①第10章を読んでおく	4時間
成績評価方法・基準	(面接) 定期試験(45%) (立野)、小テスト(5%) 立野 (面接) 定期試験(40%) (井手)、小テスト(10%) (井手)				
課題に対するフィードバック	講義内に解説を行う。(立野) WebClassにて評価結果をフィードバックする(井手)				
教科書	医学書院「系統看護学講座 専門基礎 栄養学」				
参考書・参考文献	特になし				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	井手悠一郎 学内メールにて連絡してください。 立野順子(非常勤) 質問、相談等には、授業終了後、教室にて受け付けます。				

開設科目名	公衆衛生学	科目コード	BSNLH122	開設期	1年後期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	講義、演習
責任者	井手悠一郎	担当者	井手悠一郎		
授業の概要(授業の目的)					
公衆衛生とは、地域社会の組織的な努力を通じて、疾病を予防し、寿命を延ばし、健康と活力を増進するための科学と技術である。公衆衛生の基本内容を学修することで、予防医学への理解を深め、専門職として活動するための知識と態度を修得する。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
公衆衛生に関わる知識を理解し、修得している。				医療の基礎	
自ら学習する態度を身につける。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	公衆衛生とは、健康の指標	講義(面接)	井手	第1、3章を読んでおく、授業内容の復習	2時間
2	生活習慣病、健康教育とヘルスプロモーション	講義(面接)	井手	第11、13章を読んでおく、授業内容の復習	4時間
3	医療・介護の保障制度	講義(面接)	井手	第7章を読んでおく、授業内容の復習	4時間
4	精神保健福祉、難病対策	講義(面接)	井手	第14、12章を読んでおく、授業内容の復習	4時間
5	感染症とその予防	講義(面接)	井手	第4章を読んでおく、授業内容の復習	4時間
6	母子保健、学校保健	講義(面接)	井手	第9、10章を読んでおく、授業内容の復習	4時間
7	食品保健と栄養、生活環境の保全、地域保健活動	講義(面接)	井手	第5、6、8章を読んでおく、授業内容の復習、	4時間
8	産業保健、年齢調整死亡率(一部反転授業を実施) ⇒実際のデータを用いた計算演習	講義、演習(面接)	井手	第15、2章を読んでおく、動画「年齢調整死亡率の計算」を視聴しておく、授業内容の復習	4時間
成績評価方法・基準	① 各回の小レポートの提出(1～8回の授業内容について毎回まとめ、WebClassへ提出してください)50%(井手) ② (面接)定期試験50%(井手)				
課題に対するフィードバック	各評価結果については定期試験後にWebClassにてフィードバックします。				
教科書	ヌーヴェルヒロカワ『わかりやすい公衆衛生学』				
参考書・参考文献	厚生統計協会『国民衛生の動向』				
オフィス学習相談メッセージその他	連絡先 井手悠一郎(6号館2階 井手悠一郎研究室)、オフィスアワー:火曜16:00～17:00 ※上記時間帯以外に訪問したい場合は事前予約をください。 メール等での質問も可です。(アドレスについてはOffice365を参照してください) ICTの活用:復習レポートにおいては、1～8回の授業内容についての復習ノート(手書きまたはWord)を作成し、手書きの場合はOffice Lens等で撮影を行った上で(PDF形式)、WebClassに提出してください(提出可能形式:.doc、.pdfのみ)				

開設科目名	病理学	科目コード	BSNLH123	開設期	1年後期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	30時間	授業区分	講義
責任者	杉田保雄	担当者	杉田保雄		
授業の概要(授業の目的)					
初めて病気について学ぶ学生が、病気の原因や病気の成り立ちのしくみを理解し、看護の実践の場で医学との有機的関連のもとで応用できる病気の基礎知識を体得できるよう、①細胞・組織とその障害 ②再生と修復 ③循環障害 ④炎症 ⑤免疫とアレルギー ⑥先天奇形 ⑦腫瘍 他、について学修する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 病気の原因が理解できる			医療の基礎/ロイ適応看護モデル		
2) 病気の成り立ちのしくみを理解できる					
3) 病気の基礎知識を理解できる					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	病理学の領域	講義<面接>	杉田	病理学の概要、病理学と臨床医学	1時間
2	細胞・組織とその障害	講義<面接>	杉田	細胞の構造と機能、組織、細胞障害などについて	1時間
3	再生と修復	講義<面接>	杉田	化生、創傷治癒と肉芽組織、異物処理など	1時間
4	循環障害①充血とうっ血、旁側循環、出血、血液凝固など	講義<面接>	杉田	充血とうっ血、旁側循環、出血、血液凝固など	1時間
5	循環障害②塞栓症、虚血と梗塞、浮腫、ショックなど	講義<面接>	杉田	塞栓症、虚血と梗塞、浮腫、ショックなど	1時間
6	炎症①炎症の基本病変、炎症のメカニズム、急性炎症の種類	講義<面接>	杉田	炎症の基本病変、炎症のメカニズム、急性炎症の種類	1時間
7	炎症②慢性炎症のメカニズム、肉芽腫性炎症、炎症の全身への影響など	講義<面接>	杉田	慢性炎症のメカニズム、肉芽腫性炎症、炎症の全身への影響など	1時間
8	感染症・免疫・アレルギー	講義<面接>	杉田	感染症とは、生体における免疫系の役割、自己免疫疾患など	1時間
9	代謝異常	講義<面接>	杉田	脂質、糖質、蛋白質代謝異常など	1時間
10	老年病	講義<面接>	杉田	生理的老化と病気、老化のしくみなど	1時間
11	新生児の異常・先天性奇形	講義<面接>	杉田	正期産児、早産児の疾病、先天異常の原因など	1時間
12	腫瘍①形態、発生と発育、悪性腫瘍の進展と転移など	講義<面接>	杉田	腫瘍の形態、発生と発育、悪性腫瘍の進展と転移など	1時間
13	腫瘍②腫瘍と宿主の関係、発生のメカニズム、疫学	講義<面接>	杉田	腫瘍と宿主の関係、発生のメカニズム、疫学	1時間
14	生命の危機	講義<面接>	杉田	日本人の死因、生命に危機をもたらす損傷、ショックの臨床症状と対応方針など	1時間
15	まとめ	講義<面接>	杉田		1時間
成績評価方法・基準	①筆記試験 100% (杉田)				
課題に対するフィードバック	前回講義した授業項目について教員と学生で討議を行う				
教科書	『カラーで学べる病理学』ヌーヴェルヒロカワ				
参考書・参考文献	特になし				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	杉田保雄(非常勤) 質問、相談等には、授業終了後、教室にて受け付けます。 毎回予習をしていただくことが望ましい 授業前にアクティブラーニングとして小テストを行う				

開設科目名	コンピュータテラシー	科目コード	BSNLH124	開設期	1年前期
単位数(履修区分)	1単位(選択)	時間数	15時間	授業区分	講義・演習
責任者	井手悠一郎	担当者	井手悠一郎、堤千代		
授業の概要(授業の目的)					
データヘルスサイエンス入門やデータテラシー基礎を履修するにあたって、パソコンスキルの習熟度を補完する授業とする。コンピュータやインターネットの基本的な仕組みを知り、Microsoft Office アプリケーションの基本構造や操作を習得し、キーボード入力によるタッチタイプのスキルを備えることを目的とする。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
ICTに慣れ親しみ関心をもつことができる				医療の基礎	
コンピュータおよびインターネットの仕組みが理解できる					
Word、Excel、PowerPointの簡単な活用ができる					
タッチタイプが習得できる					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	コンピュータの仕組み	講義 ＜面接＞	井手	事前配布資料を読んでおく 講義内容の復習	4時間
2	インターネットの仕組み	講義 ＜面接＞	井手	事前配布資料を読んでおく 講義内容の復習	4時間
3	タイピング演習	個人ワーク ＜面接＞	井手 堤	事前配布資料を読んでおく 講義内容の復習	4時間
4	Word演習(1) 文書の作成、印刷、保存	個人ワーク ＜面接＞	井手 堤	教科書の1, 2章を読んでおく 講義内容の復習	4時間
5	Word演習(2) 挿入、表の作成	個人ワーク ＜面接＞	井手 堤	教科書の3, 4章を読んでおく 講義内容の復習及び実際に操作してみる	4時間
6	Excel演習 Excelの基本操作、関数	個人ワーク ＜面接＞	井手 堤	教科書の6, 7, 8章を読んでおく 講義内容の復習及び実際に操作してみる	4時間
7	PowerPoint演習(1) スライドの構成、テーマ、図形の挿入	個人ワーク ＜面接＞	井手 堤	教科書の10, 11章を読んでおく 講義内容の復習	4時間
8	PowerPoint演習(2) プレゼンテーション、アプリ間データ共有	個人ワーク ＜面接＞	井手 堤	教科書の12, 13章を読んでおく 講義内容の復習	2時間
成績評価方法・基準	レポート100% 科目責任者が評価を行います。				
課題に対するフィードバック	課題の評価結果は、WebClassにて行います。				
教科書	『よくわかる Word 2019 & Excel 2019 & PowerPoint 2019』 FOM出版				
参考書・参考文献	特になし				
オフィスワ 学習相談 メッセージ その他	<p>本科目は、society5.0に向けた『データヘルスサイエンス入門プログラム』の一部です。</p> <p>データテラシー基礎(必修)の履修に向け、初歩的なコンピュータテラシーを学ぶ科目です。</p> <p>パソコン操作に自信がない方は、積極的に履修してください。</p> <p>連絡先 井手悠一郎(6号館2階 井手悠一郎研究室) / オフィスアワー: 火曜 16:00~17:00 ※上記時間帯以外に訪問したい場合は事前予約をしてください。</p> <p>メール等での質問も可です。(アドレスについてはOffice 365を参照してください)</p> <p>ICTの活用: 発表資料およびレポートの提出は、WebClassへ提出してください(提出可能形式: .docのみ)</p>				

開設科目名	データヘルスサイエンス入門	科目コード	BSNLH125	開設期	1年前期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	講義・演習
責任者	堤 千代	担当者	堤 千代 井手悠一郎 七條麻衣子 川口淳		
授業の概要(授業の目的)					
society5.0に向け、様々な領域でデータ・AIが活用されていることを知り、どんなデータが集められ、どのように活用されているかを知る。データ利活用によって生まれる価値や最新動向を調べ、特に保健医療分野におけるAIやデータの利活用に関心を持ち、看護職として人間が担うべき役割について考える機会とする。また、データを活用する際に注意すべき情報倫理やセキュリティについても学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) サイバー、フィジカル空間におけるデータ収集過程と利用のプロセスを説明できる。			医療の基礎		
2) データサイエンスに関する法制度が説明できる。					
3) デジタル社会における情報モラルとセキュリティを遵守できる。					
4) 保健医療分野におけるAIやデータ活用の可能性とELSIについて考察し、表現できる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	データの利活用 -サイバー・フィジカルシステムの理解	講義 (面接)	堤	復習: 提示された課題についてインターネットで調べる webclass 小テストで復習する	4時間
2	社会とAI -AIの実装と人間との共存	講義 (面接)	堤	予習: 教科書1の1章を読んでおく 復習: webclass 小テストで復習する	4時間
3	医療AI -非構造化データ(画像・言語・音声)の解析	講義 (面接)	川口	予習: 教科書1の2章、3章を読んでおく 復習: webclass 小テストで復習する	4時間
4	データサイエンスにおけるELSI(Ethical, Legal and Social Issues) -倫理、法、社会的課題	講義 (面接)	井手	予習: 事前配布資料に目を通しておく 復習: webclass 小テストで復習する	4時間
5	情報社会に求められる情報モラル -情報社会の現状とソーシャルメディア	講義 (面接)	七條	復習: webclass 小テストで復習する	4時間
6	情報社会に求められる情報セキュリティ -情報社会の現状とソーシャルメディア	講義 (面接)	七條	復習: webclass 小テストで復習する	4時間
7	医療における情報倫理 -個人情報保護法、守秘義務、電子カルテの管理	講義 (面接)	井手	予習: 教科書の3章、4章を読んでおく 復習: webclass 小テストで復習する	4時間
8	看護とデータサイエンス -保健医療分野におけるデータの利活用	講義 (面接)	堤	復習: webclass 小テストで復習する	4時間
成績評価方法・基準	筆記試験 50% (評価者: 堤) webclass 小テストを中心に出题します。 個人レポート 50% (評価者: 堤) 提示したルーブリックに沿って採点します。				
課題に対するフィードバック	筆記試験の解説は再試験終了後、webclass で公開します。 個人レポートは、全員にコメントを返しますので、webclass のマイルポートからコメントを確認してください。採点が終わったらメールで連絡します。				
教科書	1. 山下康行著『医療AI入門』金原出版株式会社(第2回、第3回) 2. 太田勝正他著『エッセンシャル看護情報学 第3版』医歯薬出版(第7回)				
参考書・参考文献	標葉 隆馬著『責任ある科学技術ガバナンス概論』ナカニシヤ出版 松尾豊著『人工知能は人間を超えるか』角川 EPUB 選書				
ワイアワー 学習相談 メッセー その他	本科目は、society5.0に向けた『データヘルスサイエンス入門プログラム』の一部です。society5.0に向け、全ての大学生が身に着けるべきデータ活用のための知識と技術を中心に展開します。疫学Ⅰ・データテラシー基礎(1年次) データテラシー演習(2年次)、データ分析応用基礎(3年次)、疫学Ⅱ・保健統計学(4年次)と、段階的にデータ思考を学ぶプログラムの基礎となる科目です。次年度以降、当該選択科目は積極的に履修してください。 Webclassの小テストは期間限定公開ですので、積み残しのないよう、その都度復習してください。 レポートの書き方は資料を提示しますので、基本的な文法を守った表現にしてください。 第3回では研究者自身が行った画像診断AI開発のプロセスについて紹介します。 堤 千代(2号館1F 220研究室) オフィスアワー: 火曜 12:10~13:10 tsutsumi@stmaryacjp.onmicrosoft.com 各回の質問は科目責任者: 堤が窓口になりますので、遠慮なくご相談ください。 堤が担当する授業では、毎回終了後にチャットによる感想や質問を求めます。自由にコメントしてください。				

開設科目名	データテラシー基礎	科目コード	BSNLH126	開設期	1年後期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	講義・演習
責任者	堤 千代	担当者	堤 千代 井手悠一郎 室谷健太		
授業の概要(授業の目的)					
政府統計や保健、医療、福祉に関するデータを調べ、その特徴を読み解くための統計学の基礎知識と数理的背景について学ぶ。コンピュータを使ってデータを集計・可視化し、その特徴を他者に説明できる力を身につける。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. データを数学的にとらえる思考を身につけ、看護におけるデータ活用について説明できる。			医療の基礎		
2. 政府統計の概要を知り、統計から得られる情報を論理的に説明できる。					
3. パソコンを用いて要約統計量を計算し、データを可視化できる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	看護におけるデータのとらえ方と数理 —AIと確率・統計(J-MOOCコンテンツ)	講義・演習 (面接)	堤 井手悠	予習: Excelで演算子による計算方法を確認しておく 復習: webclass小テスト、死亡率の計算1	4時間
2	統計の基礎 —確率	講義 (面接)	室谷	復習: webclass小テスト	4時間
3	統計の基礎 —データの記述	講義 (面接)	室谷	復習: webclass小テスト	4時間
4	人口統計と保健統計調査 —死亡率の計算	講義・演習 (面接)	堤 井手悠	予習: インターネットでe-statにアクセスしてみる 復習: webclass小テスト、死亡率の計算2	4時間
5	尺度の理解とデータの分布 —データを用いた度数分布表とヒストグラム	講義・演習 (面接)	堤 井手悠	予習: テキストP6~13を読んでおく 復習: webclass小テスト、ヒストグラムの作成	4時間
6	連続データの要約統計量 —集団特性の記述と留意点	講義・演習 (面接)	堤 井手悠	予習: テキストP14~23を読んでおく 復習: webclass小テスト、要約統計量の計算	4時間
7	連関と相関 —2変量の関係による分析方法	講義・演習 (面接)	堤 井手悠	予習: テキストP106~113を読んでおく 復習: webclass小テスト、クロス集計表作成	4時間
8	標本調査と区間推定 —推測統計の考え方	講義・演習 (面接)	堤 井手悠	予習: テキストP76~83を読んでおく 復習: webclass小テスト、信頼区間の計算	4時間
成績評価方法・基準	筆記試験100%、Excel課題提出未提出は減点(評価者:堤)				
課題に対するフィードバック	課題の模範解答は授業中に解説する。筆記試験の解説は再試験終了後にwebで公開する。				
教科書	豊田修一他著『やさしい統計処理』実教出版				
参考書・参考文献	柳川堯他著『新 看護・リハビリ・福祉のための統計学』 三井正著『JMPではじめるデータサイエンス』				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	<p>本科目は、society5.0に向けた『データヘルスサイエンス入門プログラム』の一部です。society5.0に向け、全ての大学生が身につけるべきデータ活用のための知識と技術を中心に展開します。疫学Ⅰ・データテラシー基礎(1年次) データテラシー演習(2年次)、データ分析応用基礎(3年次)、疫学Ⅱ・保健統計学(4年次)と、段階的にデータ思考を学ぶプログラムの基礎となる科目です。次年度以降、当該選択科目は積極的に履修してください。</p> <p>本科目は、看護師課程・保健師課程の両方の教育内容を含みます。</p> <p>演習のある授業はパソコン室で、ABクラス分かれて行います。データを保存するためのUSBメモリをご持参ください。</p> <p>Microsoft Excelを使った課題があります。自宅でもExcelを使える環境が望ましいです。パソコンスキルに自信がない方は、課外でサポートクラスを実施しますので、参加してください。</p> <p>私の研究分野は、看護におけるバイオ統計学の応用です。授業全般で、これまでの調査研究で用いた手法を紹介します。</p> <p>堤 千代(2号館1F 220研究室) オフィスアワー: 火曜 12:10~13:10 tsutsumi@stmaryacjp.onmicrosoft.com 各回の質問は科目責任者: 堤が窓口になりますので、遠慮なくご相談ください。堤が担当する授業では、毎回終了後にチャットによる感想や質問を求めます。自由にコメントしてください。</p>				

開設科目名	疫学 I	科目コード	BSNLH127	開設期	1年 後期
単位数 (履修区分)	1 単位 (必修)	時間数	1 5 時間	授業区分	講義
責任者	井手 悠一郎	担当者	井手 悠一郎		
授業の概要 (授業の目的)					
疫学は伝染病対策のために利用されてきたが、第二次世界大戦後は生活習慣病の発生要因の解明とその予防のために利用されている。公衆衛生活動の基礎的方法論でもある疫学とはどのような学問であり、疫学的な因果推論とはどのような概念であるかを理解する。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
疫学的思考について理解する。				ケアリング/科学的思考と問題解決能力	
自ら学習する態度を身につける。					
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	疫学とは、疫学が明らかになってきたこと	講義(面接)	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4 時間
2	有病率、累積罹患率、罹患率	講義(面接)	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4 時間
3	曝露と結果指標、研究仮説、相対危険	講義(面接)	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4 時間
4	母集団と標本、コホート研究	講義(面接)	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4 時間
5	症例対照研究、介入研究	講義(面接)	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4 時間
6	バイアスとその制御	講義(面接)	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4 時間
7	交絡とその制御	講義(面接)	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4 時間
8	背理法、関連と因果関係、臨床疫学とエビデンス、研究倫理	講義(面接)	井手	授業内容の復習	2 時間
成績評価方法・基準	①各回の小テスト 50% (各回終了後に WebClass (疫学 I) 上で実施します) ②定期試験 50% (筆記試験または WebClass 上で実施します)				
課題に対するフィードバック	試験後、各評価結果を WebClass にて個別にフィードバックします。				
教科書	特に指定しない。				
参考書・参考文献	医学書院『基礎から学ぶ 楽しい疫学』(第4版) 参考文献 (Immunogenicity of a monovalent influenza A(H1N1)pdm09 vaccine in patients with hematological malignancies)				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	<p>疫学 I で触れなかった他の研究デザインやスクリーニング、倫理的配慮等については、4 年次開講科目、疫学 II で取り扱います。疫学についてさらに学びたい方や保健師コース履修者の方は、そちらの科目も履修してください。</p> <p>また本科目は、society5.0 に向けた『データヘルスサイエンス入門プログラム』の一部です。society5.0 に向け、全ての大学生が身に着けるべきデータ活用のための知識と技術を中心に展開します。疫学 I ・データテラシー基礎 (1 年次) データテラシー演習 (2 年次) 、データ分析応用基礎 (3 年次) 、疫学 II ・保健統計学 (4 年次) と、段階的にデータ思考を学ぶプログラムの基礎となる科目です。次年度以降、当該選択科目は積極的に履修してください。</p> <p>連絡先 井手悠一郎 (6 号館 2 階 井手悠一郎研究室) 、オフィスアワー : 火曜 16 : 00 ~ 17 : 00 ※上記時間帯以外に訪問したい場合は事前予約をしてください。</p> <p>またメール等での質問にも対応しております。(アドレスについては Office 365 を参照してください) ICT の活用 : 各回の小テスト、成績評価のフィードバックは WebClass を用いて実施します。 その他 : 第 7 回については「Immunogenicity of a monovalent influenza A(H1N1)pdm09 vaccine in patients with hematological malignancies」に関する研究成果を一部参照して、講義を展開します。</p>				

開設科目名	体育理論	科目コード	BSNLH128	開設期	1年前期
単位数(履修区分)	1単位(選択)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	堀田 亮	担当者	堀田 亮		
授業の概要(授業の目的)					
健康的な生活を送るために必要な運動・スポーツに関する知識を得ることを目的とする。心身の健康づくりに果たす運動・スポーツの役割を理解し、生涯スポーツの観点から、子ども・高齢者・女性・障害者等、様々な対象に合わせた運動・スポーツの実施方法について学ぶ。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1)運動・スポーツと身体的・精神的・社会的健康の関連について理解できる。				医療の基礎/ロイ適応看護モデル	
2)年齢や性別など対象の特徴に合わせた運動・スポーツ活動について理解できる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	健康とは何か 自分の健康について考えてみよう	講義 <対面>	堀田	課題レポート①「健康度・生活習慣診断検査」の結果をもとにレポートを作成する。	4時間
2	運動・スポーツと身体的健康 体力、生活習慣病予防	講義 <対面>	堀田	課題レポート②「身体活動のセルフモニタリング」の結果をもとにレポートを作成する。	4時間
3	運動・スポーツと精神的健康 メンタルヘルス、ストレス	講義 <対面>	堀田	課題レポート③「大学生用ストレス自己評価尺度」の結果をもとにレポートを作成する。	4時間
4	運動・スポーツと社会的健康 社会的スキル、ライフスキル	講義 <対面>	堀田	課題レポート④「社会的スキル測定尺度」の結果をもとにレポートを作成する。	4時間
5	子どもと運動・スポーツ 発育・発達	講義 <対面>	堀田	配布資料の復習	4時間
6	高齢者と運動・スポーツ 老化、健康寿命	講義 <対面>	堀田	配布資料の復習	4時間
7	スポーツとジェンダー スポーツ障害トライアングル	講義 <対面>	堀田	配布資料の復習	4時間
8	アダプテッドスポーツ 障害者スポーツの紹介	講義 <対面>	堀田	配布資料の復習	4時間
成績評価方法・基準	①期末試験(レポート課題)40%(堀田) ②授業外レポート40%(堀田) ③授業内レポート20%(堀田)				
課題に対するフィードバック	出題意図を説明します。				
教科書	特になし				
参考書・参考文献	九州大学健康科学センター(編)健康・運動・スポーツの科学 大修館書店 2008 秋峯良二・城戸親男・美山恭教(編)快適な身体環境を求めて ナカニシヤ出版 2003				
オフィス 学習相談 メッセージ その他	堀田 亮(非常勤) 授業終了後、教室で質問を受け付けます。または hottaryo@kjc.kindai.ac.jp へ。 その他:第5回については、「幼児期の経験と発育・発達との関連に関する研究」の研究成果を一部参照して、講義を展開します。				

開設科目名	体育実技	科目コード	BSNLH129	開設期	1年通年
単位数(履修区分)	1単位(自由)	時間数	30時間	授業区分	実技
責任者	甲木秀典	担当者	甲木秀典		
授業の概要(授業の目的)					
実際に運動を実施することにより、身体活動が健康に及ぼす効果を理解するとともに、生活の質(QOL)を充実させるための継続的な運動習慣を身につけることを目的とする。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) スポーツを楽しむために必要となる基本スキルを身につける。				医療の基礎/ロイ適応看護モデル	
2) チーム内でコミュニケーションを取り、メンバーと協働することができる					
3) 自己の健康・体力の現状を把握し、健康的なライフスタイル構築の重要性を理解できる					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	オリエンテーション・コミュニケーションゲーム	実技(面接)	甲木	シラバスを確認し授業内容を整理する	1時間
2	ストレッチとリラクゼーション	実技(面接)	甲木	授業に関する資料を収集し整理する	1時間
3	ウォーキングとジョギング	実技(面接)	甲木	授業に関する資料を収集し整理する	1時間
4	ストレッチと筋力トレーニング	実技(面接)	甲木	授業に関する資料を収集し整理する	1時間
5	バドミントン	実技(面接)	甲木	授業に関する資料を収集し整理する	1時間
6	バドミントン	実技(面接)	甲木	授業に関する資料を収集し整理する	1時間
7	バスケットボール	実技(面接)	甲木	授業に関する資料を収集し整理する	1時間
8	バスケットボール	実技(面接)	甲木	授業に関する資料を収集し整理する	1時間
9	卓球	実技(面接)	甲木	授業に関する資料を収集し整理する	1時間
10	卓球	実技(面接)	甲木	授業に関する資料を収集し整理する	1時間
11	バレーボール	実技(面接)	甲木	授業に関する資料を収集し整理する	1時間
12	バレーボール	実技(面接)	甲木	授業に関する資料を収集し整理する	1時間
13	フットサル	実技(面接)	甲木	授業に関する資料を収集し整理する	1時間
14	フットサル	実技(面接)	甲木	授業に関する資料を収集し整理する	1時間
15	選択種目(授業内容から自由選択)	実技(面接)	甲木	授業に関する資料を収集し整理する	1時間
成績評価方法・基準	①授業への取り組み姿勢(授業時間の厳守、適した服装とシューズの着用、ゲームの参加態度など)70% ②授業内レポート30% ※①②とも科目担当者全員にて評価を行う				
課題に対するフィードバック	授業内レポート:授業終了後に回収し、次回授業開始時に返却する				
教科書	特になし(配布資料あり)				
参考書・参考文献	特になし				
ワイアワー 学習相談 メッセージ その他	甲木 秀典(非常勤) 授業終了後、質問を受け付けます。または katsukih@nisikyu-u.ac.jp ・運動着・体育館シューズを準備すること ・飲み物、タオルを準備すること				

開設科目名	看護の基礎	科目コード	BSNBA101	開設期	1年 前期
単位数 (履修区分)	1 単位 (必修)	時間数	15 時間	授業区分	講義
責任者	日高艶子	担当者	日高 艶子、崎田 マユミ、桃井 雅子、矢野正子		
授業の概要 (授業の目的)					
本科目では、看護とヘルスケアの環境、ライフスパンにおけるケアリング、看護実践におけるクリティカルシンキング、専門職としての基礎など、看護実践のための基礎となることから学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1.看護とヘルスケアの環境を説明できる。			医療の基礎/ロイ適応看護モデル		
2.ライフスパンにおけるケアリングを説明できる。					
3.看護実践におけるクリティカルシンキングを説明できる。					
4.看護実践における専門職者として基礎となることから説明できる。					
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	大学で看護を学ぶということ 知識に立脚する専門職としての看護	講義(面接)	日高	講義内容を復習する。	4 時間
2	看護の歴史と発展 —イギリス・アメリカ・日本—	講義 (面接)	矢野	講義内容や配布された資料を復習する。	4 時間
3	看護とヘルスケアの環境① 保健医療福祉のシステム、地域包括ケア	講義(面接)	崎田	教科書の第 10 章 保健・医療・福祉システムを読み予習の上講義に参加する。講義内容を復習する。	4 時間
4	看護とヘルスケアの環境② エビデンスに基づく看護実践	講義(面接)	桃井	教科書の第 1 章 看護への導入を読み予習の上講義に参加する。講義内容を復習する。	4 時間
5	ライフスパンにおけるケアリング 看護実践におけるケアリング	講義(面接)	日高	カトリックの愛の精神 I で学んだ「ケアリングの本質」について復習してくる。講義時に資料を配布する。講義内容を復習する。	4 時間
6	看護実践におけるクリティカルシンキング	講義(面接)	日高	講義時に資料を配布する。講義内容を復習する。 教科書第 8 章看護過程を読み予習の上講義に参加する。	4 時間
7	看護実践における専門職としての基礎① 倫理と価値	講義(面接)	桃井	授業前に教科書第 6 章「看護における倫理と価値」を読み、予習の上、授業に参加する。授業後に内容を復習し、考察・内省する。	4 時間
8	看護実践における専門職としての基礎② 看護に関連する法律や制度	講義(面接)	崎田	教科書第 9 章 看護における法的側面を読み予習の上講義に参加する。講義内容を復習する。	4 時間
成績評価方法・基準	① レポート (100%) 評価者：科目責任者 (日高)				
課題に対するフィードバック	レポートはコメントを付与して後日返却します。				
教科書	志自岐康子編：ナーシング・グラフィカ 基礎看護学① 看護学概論 (第 7 版) メディカ出版				
参考書・参考文献	パトリシア A ポッター & アン・グリフィン・ペリー 井部敏子 看護の基礎 実践に不可欠な知識と技術. エルゼビアジャパン Potter and Perry Fundamentals of Nursing NINTH Edition, 2017, Elsevier				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	オフィスアワー：日高艶子 (7 号館 3 階 731 号室) ; 火曜 16 : 30~17 : 30 *ICT の活用：レポート提出に関しては Webclass を活用します。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。 本科目は、担当教員の看護に関する研究成果を一部関連付けて講義します。				

開設科目名	看護理論学	科目コード	BSNBA102	開設期	1年後期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	日高艶子	担当者	日高艶子、小浜さつき		
授業の概要(授業の目的)					
看護理論や看護モデルの発展は、看護の主要概念を明らかにし、専門職としての看護の知識を開発し、看護実践の方向性を示した。本科目では、看護理論の発展の歴史と代表的な看護理論家とその理論で説明される主要概念について講義とグループワーク・プレゼンテーションを通して学修する					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 看護理論と看護実践の発展について説明できる。			医療の基礎/ロイ適応看護モデル		
2. 看護理論の分類について述べるができる。					
3. 代表的な理論家の看護理論を取り上げ看護の重要概念について説明できる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	看護理論と看護実践の発展	講義 (面接)	日高	教科書の第I部を予習すること。学修した内容を復習すること。	4時間
2	看護理論の分類と変遷	講義 (面接)	日高	教科書の第I部を予習すること。学修した内容を復習すること。	4時間
3	看護理論家 ペブロー/オレム	講義 (面接)	日高 小浜	教科書のペブローとオレムの章を予習すること。学修した内容を復習すること。	4時間
4	看護理論家 レイニンガー/ベナー	講義 (面接)	日高 小浜	教科書のレイニンガーとベナーの章を予習すること。学修した内容を復習すること。	4時間
5	中範囲理論 ベンダー、ミッシェル	講義 (面接)	日高 小浜	教科書のベンダーとミッシェルの章を予習すること。学修した内容を復習すること。	4時間
6	中範囲理論 コービンとストラウス他	講義 (面接)	日高 小浜	呈示した資料を基に学修を進める。学修した内容を復習すること。	4時間
7	代表的な看護モデルが示す重要概念の検討 プレゼンテーション・ディスカッション	GW (面接)	日高 小浜	担当する理論家の、主要概念(人間・健康・環境・看護)について調べ、レポート課題に取り組む。課題の具体的内容は、講義において指示します。	8時間
8	代表的な看護モデルが示す重要概念の検討 プレゼンテーション・ディスカッション				
成績評価方法・基準	課題レポート100% 評価者: 科目責任者				
課題に対するフィードバック	課題レポートについては、後日返却します。				
教科書	看護理論家の業績と理論評価 医学書院				
参考書・参考文献	特になし				
カイアワー 学習相談 メッセージ その他	日高艶子(7号館3階、L731研究室)、オフィスアワー: 金曜日 16:00-17:00 その他: この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です ICTの活用: レポートの提出には、Webclassを活用します。 この科目は、看護理論に関する日高・小浜の研究成果を一部基にして進めていきます。				

開設科目名	ロイ適応看護モデル入門	科目コード	BSNBA103	開設期	1年後期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	日高艶子	担当者	日高艶子、小浜さつき		
授業の概要(授業の目的)					
キリスト教のカトリックの愛の精神に基づく人間観を哲学的前提とするロイ適応看護モデルの構成要素、ロイ適応看護モデルの看護過程、適応様式の概要について学修する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. ロイ適応看護モデルの構成要素を説明できる。			医療の基礎/ロイ適応看護モデル		
2. ロイ適応看護モデルの看護過程を説明できる。					
3. ロイ適応看護モデルの適応様式の概要を説明できる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	・看護理論家 Sister Callista Roy ・Sister Callista Roy と聖マリア学院大学の歴史 ・Roy Adaptation Association の活動	講義 <面接>	日高	看護理論学の講義を元に、看護理論家 Sister Callista Roy について学修し講義に臨む。また、Roy Academia Nursology Research Center のホームページを検索し、活動を予習しておく。講義内容を復習すること。	4時間
2 3	・ロイ適応モデルの構成要素 ①モデルの前提 ②適応システムとしての人間 ③コーピング ④適応様式	講義 <面接>	日高 小浜	教科書：第1部の第1章、第2章を読み予習に取り組む。学習内容を復習すること。	8時間
4 5	ロイ適応モデルの構成要素 ⑤環境、⑥健康、⑦看護	講義 <面接>	日高 小浜	教科書：第1部の第1章、第2章を読み予習に取り組む。学習内容を復習すること。	8時間
6	ロイ適応モデルの看護過程—①構成要素 ロイ適応モデルの電子カルテへの適用	講義 <面接>	日高	教科書：第1部の第3章 ロイ適応モデルの看護過程を読んで予習すること。学習内容を復習すること。 教科書：第4部の第21章ロイ適応モデルの適用を読んで予習すること。学習内容を復習すること。	4時間
7	ロイ適応モデルの看護過程—② Case study	講義 討議 <面接>	日高 小浜	教科書：第1部 第3章ロイ適応看護モデルの看護過程を読んで予習すること。学習内容を復習すること。 指示された Case Study に取り組む。	4時間
8	ロイ適応モデルの看護過程—③ Case study	講義 討議 <面接>	日高 小浜	教科書①第3章ロイ適応看護モデルの看護過程を読んで予習すること。学習内容を復習すること。 指示された Case Study に取り組む。	4時間
成績評価方法・基準	筆記試験 100%評価者：科目責任者				
課題に対するフィードバック	授業後のリアクションペーパーについては、後日返却します。				
教科書	ロイ適応看護モデル 第2版、医学書院				
参考書・参考文献	特になし				
オフィス 学習相談 メッセージ その他	日高艶子(7号館3階、L731研究室)、オフィスアワー：金曜日 16:00-17:00 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です ICTの活用：レポートの提出については、Webclassを活用します。リアクションペーパーの提出には、Microsoft Formsを活用します。 この科目は、日高・小浜のロイ適応看護モデルに基づく研究及び Roy Adaptation Association International Conference の動向をもとに一部講義を行います。				

開設科目名	臨床基礎技術論 I	科目コード	BSNBA104	開設期	1 年前期
単位数 (履修区分)	1 単位 (必修)	時間数	15 時間	授業区分	講義
責任者	石本 祥子	担当者	石本 祥子		
授業の概要 (授業の目的)					
日常生活行動に関連する看護実践に不可欠な知識と技術について学ぶ。 特に本科目では、コミュニケーション、スタンダードプリコーション、バイタルサイン、活動と休息の技術に焦点を当てて学修する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー (学位授与の方針) との関連		
1) ヘルスアセスメントの意義と目的を述べることができる。			医療の基礎/ロイ適応看護モデル		
2) バイタルサインに関する基本的知識を説明できる。					
3) 感染防止の技術や安楽、活動・運動の援助技術を説明できる。					
4) 看護におけるコミュニケーションの意義について理解し、効果的なコミュニケーションに関する知識を説明できる。					
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習 (学習課題)	取組時間
1	ガイダンス、コミュニケーション	講義 (面接)	石本	教科書①第 1 章を読んでおく。 関連ページのメディカ AR 動画を視聴しておく。 教科書③ (p45-62) を読んでおく。	4 時間
2	感染防止の技術	講義 (面接)	石本	教科書②第 4 章を読んでおく。 関連ページのメディカ AR 動画を視聴しておく。	4 時間
3	安楽、活動・運動の技術 (ボディメカニクス、体位、移動 等)	講義 (面接)	石本	教科書②第 2 章、第 7 章を読んでおく。 関連ページのメディカ AR 動画を視聴しておく。	4 時間
4	ヘルスアセスメント、バイタルサイン	講義 (面接)	石本	教科書①第 4 章を読んでおく。 関連ページのメディカ AR 動画を視聴しておく。 教科書③ (p226-239) を読んでおく。	4 時間
5	体温	講義 (面接)	石本	教科書①第 4 章を読んでおく。 関連ページのメディカ AR 動画を視聴しておく。 教科書③ (p236-239) を読んでおく。	4 時間
6	呼吸、意識	講義 (面接)	石本	教科書①第 4 章を読んでおく。 教科書③ (p235、259-260) を読んでおく。	4 時間
7	脈拍	講義 (面接)	石本	教科書①第 4 章を読んでおく。 関連ページのメディカ AR 動画を視聴しておく。 教科書③ (p235) を読んでおく。	4 時間
8	血圧	講義 (面接)	石本	教科書①第 4 章を読んでおく。 関連ページのメディカ AR 動画を視聴しておく。 教科書③ (p226-235) を読んでおく。	4 時間
成績評価方法・基準	①定期試験 60% ②小テスト 40% 小テストの実施方法については、ガイダンスで説明します。 成績評価は、科目責任者が行います。				
課題に対するフィードバック	定期試験及び小テストの結果は webclass にて解答を示します。				
教科書	①松尾ミヨ子他編集:ナースング・グラフィカ基礎看護学②基礎看護技術 I 第 1 版,2022. ②松尾ミヨ子他編集:ナースング・グラフィカ基礎看護学②基礎看護技術 II 第 1 版,2022. ③Lynn S.Bickley 他著,有岡宏子他監修:ペイツ診察法 第 3 版.メディカル・サイエンス・インターナショナル,2022.				
参考書・参考文献	「看護がみえる」シリーズ				
オフィス 学習相談 メッセージ その他	石本祥子 (2 号館 1 階 224 研究室) オフィスアワー: 水曜 12:10~13:10 上記時間帯以外に訪室したい場合は事前予約をしてください。メールアドレス: ishimoto @stmaryacjp.onmicrosoft.com ICT の活用: 講義終了後 ICT を活用した小テストを実施します。 教科書に記載してある「メディカ AR」アプリを使用します。スマートフォンやタブレット端末にアプリをインストールしておきましょう。 その他: この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。 看護学生のソーシャルスキル獲得に向けた教育に関する研究成果の一部をコミュニケーションやヘルスアセスメントの講義で説明します。				

開設科目名	スキルラボ基礎レベル 1	科目コード	BSNBA105	開設期	1 年前期
単位数 (履修区分)	1 単位 (必修)	時間数	15 時間	授業区分	演習
責任者	石本祥子	担当者	石本祥子、有働由樹 他		
授業の概要 (授業の目的)					
臨床基礎技術論 I で学んだ知識を基盤として、バイタルサイン測定、スタンダードプリコーション、活動と休息に関するケア技術を習得する。さらに、一時救命処置 (basic life support) に関する知識と技術を習得する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー (学位授与の方針) との関連		
1) バイタルサインを正確に測定することができる。			医療の基礎/ロイ適応看護モデル		
2) Basic life support (BLS 一次救命処置) を実施することができる。					
3) 標準予防策 (スタンダードプリコーション) を実施することができる。					
4) 活動・休息の援助技術を実践することができる。					
5) 効果的なコミュニケーションのための技術、態度を習得できる。					
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習 (学習課題)	取組時間
1	ガイダンス, コミュニケーション	実技 討 論 (面接)	石本 他	臨床基礎技術論 I (コミュニケーション) の復習、演習後の練習	4 時間
2	活動・休息の技術 (体位変換、車いす移動 等)	実技 (面接)	石本 他	臨床基礎技術論 I (活動・休息の技術) の復習、演習後の練習	4 時間
3	感染防止の技術 (衛生的な手洗い) 意識レベルの評価、体温測定、呼吸測定	実技 (面接)	石本 有働 他	臨床基礎技術論 I (意識レベルの評価、体温測定、呼吸測定) の復習、演習後の練習	4 時間
4	脈拍測定	実技 (面接)	石本 他	臨床基礎技術論 I (脈拍測定) の復習、演習後の練習	4 時間
5	血圧測定	実技 (面接)	石本 他	臨床基礎技術論 I (血圧測定) の復習、演習後の練習	4 時間
6	血圧・脈拍・呼吸・体温測定	実技 (面接)	石本 他	演習内容の復習、授業外ラボ等で繰り返し練習する	5 時間
7					
8	救急蘇生法	実技 (面接)	有働 他	教科書②第 15 章を読んで演習に参加する	4 時間
成績評価方法・基準	技術試験 100% 本科目の評価は、基盤臨床看護学領域の教員全員で行います。				
課題に対するフィードバック	* 技術試験の結果については試験当日フィードバックします。不合格の方には後日再試験を行います。				
教科書	①松尾ミヨ子他編集:ナースング・グラフィック基礎看護学②基礎看護技術 I 第 1 版,2022. ②松尾ミヨ子他編集:ナースング・グラフィック基礎看護学②基礎看護技術 II 第 1 版,2022. ③Lynn S.Bickley 他著,有岡宏子他監修:バイタルサイン測定法 第 3 版.メディカル・サイエンス・インターナショナル,2022.				
参考書・参考文献	「看護がみえる」シリーズ				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	石本祥子 (2 号館 1 階 224 研究室) オフィスアワー : 水曜 12:10~13:10 上記時間帯以外に訪室したい場合は事前予約をください。メールアドレス : ishimoto@stmaryacjp.onmicrosoft.com 本科目は、授業時間以外にも技術を習得するための授業外スキルラボを開講します。積極的に参加しましょう。 ICT の活用 : 臨床基礎技術論 I と同様に教科書にある「メディカ AR」アプリを活用し、技術の予習や復習をください。 事前学修、事後学修に Microsoft stream を活用します。アプリをインストールして、準備しておきましょう。 その他 : この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。 看護学生のコミュニケーションスキル発展のためのソーシャルスキルトレーニングに関する研究の成果を活用し、コミュニケーションやバイタルサイン測定のスキルラボを行います。				

開設科目名	臨床基礎技術論Ⅱ	科目コード	BSNBA106	開設期	1年後期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	石本 祥子	担当者	石本 祥子		
授業の概要(授業の目的)					
病歴聴取の概要と日常生活行動に関連する看護実践に不可欠な知識と技術について学ぶ。特に本科目では、対象の安全・安楽を確保するための技術や基本的ニードを充足するためのケア技術に焦点を当て学修する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 病歴聴取の概要を理解し、問診の技術について理解できる。			医療の基礎/ロイ適応看護モデル		
2) 快適な療養環境を理解し、環境を整える必要性を説明できる。					
3) 基本的ニードを充足するためのケア技術について知識と方法を説明できる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	快適な環境調整	講義 (面接)	石本	教科書②第1章を読んでおく	4時間
2	病歴聴取のための問診	講義 (面接)	石本	教科書①第4章 p136-139、教科書③p81-115を読んでおく	4時間
3	人間の基本的ニードのためのケア:安全	講義 (面接)	石本	教科書②第3章を読んでおく	4時間
4	人間の基本的ニードのためのケア:栄養	講義 (面接)	石本	教科書②第5章を読んでおく 関連ページのメディカ AR 動画を視聴しておく	4時間
5	人間の基本的ニードのためのケア:排泄	講義 (面接)	石本	教科書②第6章を読んでおく 関連ページのメディカ AR 動画を視聴しておく	4時間
6	人間の基本的ニードのためのケア:清潔	講義 (面接)	石本	教科書②第9章を読んでおく 関連ページのメディカ AR 動画を視聴しておく	4時間
7	人間の基本的ニードのためのケア:休息と睡眠	講義 (面接)	石本	教科書②第8章を読んでおく 関連ページのメディカ AR 動画を視聴しておく	4時間
8	人間の基本的ニードのためのケア:体温調節、安楽	講義 (面接)	石本	教科書②第2,11章を読んでおく 関連ページのメディカ AR 動画を視聴しておく	4時間
成績評価方法・基準	・定期試験 60% ・小テスト 40% 小テストの実施方法は、第1回の授業で説明します 成績評価は、科目責任者が行います。				
課題に対するフィードバック	回答いただいた小テストについては、正解・解説を公表します。 定期試験に関しても、後日解説を公表します。				
教科書	①松尾ミヨ子他編集:ナースング・グラフィカ基礎看護学②基礎看護技術Ⅰ 第1版,2022. ②松尾ミヨ子他編集:ナースング・グラフィカ基礎看護学②基礎看護技術Ⅱ 第1版,2022. ③Lynn S. Bickley 著,有岡宏子他監修:バイツ診察法 第3版.メディカル・サイエンス・インターナショナル,2022.				
参考書・参考文献	特になし				
Wi-Fi 学習相談 メッセージ その他	石本祥子(2号館1階 224研究室) オフィスアワー:水曜 12:10~13:10 上記時間帯以外に訪室したい場合は事前予約をください。メールアドレス:ishimoto@stmaryacjp.onmicrosoft.com ICTの活用:講義終了後ICTを活用した小テストを実施します。 教科書に記載してある「メディカ AR」アプリを使用します。スマートフォンやタブレット端末にアプリをインストールしておきましょう。 その他:この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。 自身の研究成果と科目内容の関連性はありませぬ。				

開設科目名	スキルラボ基礎レベル2	科目コード	BSNBA107	開設期	1年後期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	演習
責任者	石本 祥子	担当者	石本祥子、小浜さつき、有働由樹 他		
授業の概要(授業の目的)					
臨床基礎技術論Ⅱで学んだ知識を基盤として、対象の安全・安楽に配慮した病歴聴取の技術と、食事・排泄・清潔などの基本的ニードを充足するためのケア技術を習得する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 病歴聴取の概要を理解し、問診技術を習得できる。			医療の基礎/ROI適応看護モデル		
2) 基本的ニードを充足するためのケア技術を習得できる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	ガイダンス 病歴聴取のための問診①	討議・GW (面接)	石本 他	臨床基礎技術論Ⅱの講義第1回・第2回を復習する。事前課題・事後課題をする。Streamで動画を視聴する。スキルラボで技術練習を繰り返し行う。	4時間
2	人間の基本的ニードのためのケア：栄養① (技術：食事介助・口腔ケア)	討議・実技 (面接)	小浜 他	臨床基礎看護学技術Ⅱの講義第4回を復習する。事前課題・事後課題をする。Streamで動画を視聴する。スキルラボで技術練習を繰り返し行う。	4時間
3	人間の基本的ニードのためのケア：栄養②				4時間
4	人間の基本的ニードのためのケア：排泄① (技術：床上排泄援助、排便を促すケア)	討議・実技 (面接)	石本	臨床基礎技術論Ⅱの講義第5回を復習する。事前課題・事後課題をする。Streamで動画を視聴する。スキルラボで技術練習を繰り返し行う。	4時間
5	人間の基本的ニードのためのケア：排泄②				4時間
6	人間の基本的ニードのためのケア：清潔① (技術：清拭・シーツ交換)	討議・実技 (面接)	有働 他	臨床基礎技術論Ⅱの講義第6回を復習する。事前課題・事後課題をする。Streamで動画を視聴する。スキルラボで技術練習を繰り返し行う。	3時間
7	人間の基本的ニードのためのケア：清潔②				4時間
8	人間の基本的ニードのためのケア： 休息と睡眠、体温調節 (技術：部分浴、電法)	討議・実技 (面接)	石本 他	臨床基礎技術論Ⅱの講義第7回を復習する。事前課題・事後課題をする。Streamで動画を視聴する。スキルラボで技術練習を繰り返し行う。	4時間
成績評価方法・基準	技術試験 100% (技術試験は、基盤臨床看護学領域の全教員で実施します)				
課題に対するフィードバック	スキルラボの事前課題については、各担当教員がコメントと共に返却します。 技術試験については、その都度結果をフィードバックします。				
教科書	①松尾ミヨ子他編集:ナースング・グラフィック基礎看護学②基礎看護技術Ⅰ 第1版,2022. ②松尾ミヨ子他編集:ナースング・グラフィック基礎看護学②基礎看護技術Ⅱ 第1版,2022. ③Lynn S. Bickley 著有岡宏子他監修:ペイツ診察法 第3版.メディカル・サイエンス・インターナショナル,2022.				
参考書・参考文献	特になし				
オフィス 学習相談 メッセージ その他	石本祥子(2号館1階 224研究室) オフィスアワー：水曜 12:10～13:10 上記時間帯以外に訪室したい場合は事前予約をしてください。 メールアドレス：ishimoto @stmaryacjp.onmicrosoft.com ICTの活用：事前学修、事後学修にMicrosoft Streamを活用します。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。 自身の研究成果と科目内容の関連性はありません。				

開設科目名	成人・老年看護学概論	科目コード	BSNBA108	開設期	1年後期
単位数（履修区分）	2単位（必修）	時間数	30時間	授業区分	講義・演習
責任者	鶴田明美	担当者	鶴田明美、崎田マユミ、中村和代		
授業の概要（授業の目的）					
複雑で多様性のあるヘルスケアニーズを持つ成人老年期の人を理解するための理論、概念、研究、ケアリングについて学修する。特に、ヘルスポモーションや健康の維持、病気のケア、リハビリテーションにおける専門的な看護師の役割について学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連		
1. 成人老年期の人の特徴と健康に影響を及ぼす環境について説明できる。			医療の基礎 ロイ適応看護モデル		
2. 成人老年期の人のヘルスケアニーズについて説明できる。					
3. 成人老年期の人を理解するために必要な理論や概念、ケアリングについて説明できる。					
4. 成人老年期の人のヘルスケアニーズをふまえた専門的な看護について考察できる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	成人期の人の特徴	講義（面接）	鶴田	教科書①p1-32 予習	4時間
2	老年期の人の特徴と高齢者を取り巻く今日的状況	講義（面接）	中村	教科書②第1章 予習・復習	4時間
3	成人をとりまく今日の状況	講義（面接）	鶴田	教科書①p33-76 予習	4時間
4	成人期の人々の健康課題と保健・医療・福祉の動向	講義（面接）	崎田	教科書①p78-121 予習・復習	4時間
5	高齢社会における保健・医療・福祉の動向	講義（面接）	中村	教科書②第2章 B,C 予習・復習	4時間
6	成人期の人々の健康状態の特徴と看護師の役割①	講義（面接）	鶴田	教科書①p257-266 予習	4時間
7	成人期の人々の健康状態の特徴と看護師の役割②	講義（面接）	鶴田	教科書①p267-297 予習	4時間
8	成人期の人々の健康状態の特徴と看護師の役割③	講義（面接）	崎田	資料を配布する	4時間
9	老年期の人々の身体機能の変化と生活への影響	講義（面接）	中村	教科書②第4章 予習・復習	4時間
10	老年期の人々の健康状態の特徴と看護師の役割	講義（面接）	中村	教科書②第5章 予習・復習	4時間
11	成人期の人への看護に必要な概念・理論①	講義（面接）	鶴田	教科書①p174-186,205-208 予習	4時間
12	成人期の人への看護に必要な概念・理論②	講義（面接）	崎田	教科書①170-174を予習、資料配布	4時間
13	老年期の人への看護に必要な概念・理論	講義（面接）	中村	教科書②第3章 A,B 予習・復習	4時間
14	老年期の人への看護に必要な概念・理論の活用	講義（面接）	中村	教科書②第3章 C 予習・復習	4時間
15	成人老年期の人への看護を充実させる実践的環境	講義（面接）	鶴田	教科書①p300-327 予習	4時間
成績評価方法・基準	定期試験 90%：試験方法（面接または課題）については後日提示する。 参加姿勢・意欲・態度 10% 成績評価者：鶴田、崎田、中村				
課題に対するフィードバック	・担当教員から課題が課された場合は、後日コメントを付し返却する。				
教科書	①林直子他編：成人看護学 成人看護学概論（改訂第4版）社会に生き世代をつなぐ成人の健康を支える，南江堂，2022。 ②中島紀恵子他「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学」医学書院				
参考書・参考文献	・正木治恵他「老年看護学概論」老いを生きるを支えることは，南江堂，2013 ・亀井智子他「老年看護学概論 老年保健」メジカルフレンド社，2020。 ・水野信子他「最新 老年看護学」日本看護協会出版会，2022				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	・オフィスアワー：鶴田明美（2号館1階223号室）火曜 16：00～17：00 事前連絡をしてください。 E-mail:tsuruta@stmaryacjp.onmicrosoft.com ・メッセージ：複雑で多様性のあるヘルスケアニーズを持つ成人・老年期の人への看護実践に必要な基礎的知識を修得する科目です。社会情勢や健康問題に関心を寄せ、専門的な看護について思考しましょう。 中村の授業は、Teams「成人・老年看護学概論」で行います。 第9回では、「地域在住高齢女性への体操介入が心理面に及ぼす影響」の成果をご紹介します。 第13回では、「高齢者へのインタビュー演習を取り入れた成果」をご紹介します。 ・その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。				

開設科目名	専門職入門 I	科目コード	BSNBA109	開設期	1 年前期
単位数 (履修区分)	1 単位 (必修)	時間数	15 時間	授業区分	講義・演習
責任者	崎田 マユミ	担当者	崎田マユミ、小浜さつき、石本祥子、他		
授業の概要 (授業の目的)					
保健医療福祉に関わる専門職者の職業人としてのプロフェッショナリズムを学び、今後の専門職者としてのキャリアを描く。さらに、レポートの書き方、文献の検索方法、クリティークの方法について学び、アカデミック・スキルの基礎を養う。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) 保健医療福祉に関わる専門職者の職業人としてのプロフェッショナリズムを述べるができる。				専門職者として継続した能力の向上	
2) 大学におけるアカデミック・スキルの基礎を身につけることができる。					
3) 今後の自身の専門職者としてのキャリアを描くことができる。					
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	ガイダンス 看護専門職としての専門性、活動、魅力、 看護の概念、定義、歴史的背景	講義 <面接>	崎田	看護専門職の種類、活動、背景、看護の概念と定義を知り、看護専門職の専門性をイメージする	2 時間
2	保健医療福祉チームにおける専門職の専門性、活動、 各自が興味・関心をもつテーマとは何か	講義 <面接>	崎田	保健医療福祉チームの専門職の種類、活動、背景、各種専門職の専門性をイメージする	2 時間
3	大学におけるアカデミック・スキルを学ぶ 文献検索の方法、クリティークの方法	講義 <面接>	小浜	文献の種類、資料の調べ方、本の読み方、留意点、クリティークの方法を復習する	2 時間
4	大学におけるアカデミック・スキルを学ぶ レポートの書き方	講義 <面接>	小浜	大学での能動的学修、アクティブラーニングについて復習する	2 時間
5	演習①： 図書館における文献検索の方法 各学生が興味・関心のあるテーマを持ち寄り、調べ、 各専門職への質問、その根拠や理由を考える	講義・演習 <面接>	小浜	第 3～5 回の講義内容を復習し、各専門職のプロフェッショナリズムについて調べ、第 6 回、7 回の演習に備える。	2 時間
6	演習②： 各学生が興味・関心のあるテーマについて、少人数グループでブースを回り、各専門職に質問し、検討する	演習 <面接>	各担当者	保健医療福祉に関わる専門職のブースを回り、プロフェッショナリズムについて思考する	2 時間
7	演習③： 各学生が興味・関心のあるテーマについて、少人数グループでブースを回り、各専門職に質問し、検討する	演習 <面接>	各担当者	保健医療福祉に関わる専門職のブースを回り、プロフェッショナリズムについて思考する	2 時間
8	演習④： まとめ：興味・関心のあるテーマについて調べた内容を整理し、プレゼンテーションを行う	演習 <面接>	各担当者	保健医療福祉に関わる専門職のブースを回り、プロフェッショナリズムについて思考し、レポートにまとめる	2 時間
成績評価方法・基準	講義後のレポート 100% (担当教員全員)				
課題に対するフィードバック	レポートは後日コメントとともに返却します				
教科書	特になし				
参考書・参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・前原澄子他 (2014) 看護学生のためのよくなる大学での学び方 スタディ・スキル/キャリア・デザイン/プロフェッショナル・スキル、金芳堂。 ・石黒圭 (2012) : この一冊できちんと書ける! 論文・レポートの基本、日本実業出版社。 ・河野哲也 (2002) : レポート・論文の書き方入門、第 3 版、慶應義塾大学出版会。 				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	<ul style="list-style-type: none"> ・オフィスアワー：崎田マユミ (7 号館 3 階 733 号室) ; 火曜 16 : 30 ~ 17 : 30 ※ 上記時間以外は事前に予約をしてください。メールアドレス : sakita@stmaryacjp.onmicrospft.com ・その他：この科目には、情報リテラシー教育を含む授業 (情報の探索やアウトプットに関するもの) があります。 この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。 				

開設科目名	専門職入門Ⅱ	科目コード	BSNBA110	開設期	1年後期
単位数(履修区分)	1単位(選択)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	日高艶子	担当者	日高艶子、崎田マユミ、桃井雅子、鶴田明美、中村和代、橋口ちどり、小浜さつき、山口智治他		
授業の概要(授業の目的)					
<p>本科目は1年前期に学修したカトリックの愛の精神Ⅰ、キリスト教概論Ⅰ、生命倫理Ⅰ、多様性の尊重等の人間の尊厳を尊重する基礎となる能力を養う生命・健康基盤分野の科目を基に、看護が対象とする人間、人間を取り巻く環境、そして環境と健康についてゼミナール形式で学修し看護の専門分野を学ぶための導入とする。</p>					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 子どもを取り巻く環境と健康について説明できる。			専門職者として継続した能力の向上		
2. 成人を取り巻く環境と健康について説明できる。					
3. 高齢者の健康と環境について説明できる。					
4. 母性の健康と環境について説明できる。					
5. 在宅で療養する人々を取り巻く環境と健康について説明できる。					
6. クリティカルケア領域、リハビリテーション看護領域の対象と治療環境を説明できる。特に対象の理解については、ロイ適応看護モデルの4つの適応様式に基づき検討する。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	コースガイダンス(講義形式の説明)	講義 <面接>	日高		2時間
2	到達目標1~6の課題について、グループ毎に、各担当教員の指示を受け、課題に取り組む。	討議 GW <面接>	各担当 教員	取り組む課題については、講義時間中に各担当教員から説明します。	4時間
3					4時間
4					4時間
5					4時間
6					4時間
7				4時間	
8	まとめ	講義 <面接>	日高		2時間
成績評価方法・基準	・レポートの評価：各担当教員が10点分を評価し、合計得点を90点分に換算します。最終レポート10点分は科目責任者が評価します。				
課題に対するフィードバック	提出されたレポートについては、各担当教員が後日返却します。				
教科書	各担当教員が指示します。				
参考書・参考文献	特になし				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	<p>日高艶子研究室(7号館3階、731) オフィスアワー：金曜日 16:30-17:30</p> <p>※その他：この科目は、看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。</p>				

開設科目名	災害看護論	科目コード	BSNGC101	開設期	1年 後期
単位数 (履修区分)	1 単位 (必修)	時間数	15 時間	授業区分	講義
責任者	秦野環	担当者	秦野環、谷多江子		
授業の概要 (授業の目的)					
多くの災害は、人類が地球環境に与えてきたことにも起因していることを理解し、そのうえで日本国内外において起こる災害に関し学修し、災害時における看護の特性と役割を学ぶ。また、災害発生時に一市民として、また一人の看護師として、できるだけ被災を少なくする準備の必要性を学ぶ。国内外の救援活動について理解を深める。					
学修の到達目標	ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連				
1, 災害とは何かを理解し、日本国内外で発生する災害について地球環境との関連性を含め説明することができる。	地域の人々との連携・協働/ケア環境の構築				
2, 災害および災害看護に関する基礎的知識 (災害に関連する制度を含む) を理解し、説明できる。					
3, 災害が人々の生命や生活に及ぼす影響を説明することができる					
4, 災害各期の特徴と、各期における看護活動を説明できる					
5, 災害時の国際協力活動をイメージすることができる					
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	災害とは、災害と地球環境との関連	講義 (対面)	秦野	予習：①『地球環境と共生社会』の復習を行う、②教科書 p 16～18 を見ておく、③教科書 p 19～46 を読んでおく。 復習：授業後に提示される forms に参加する	予習 1 時間、 復習 1 時間
2	災害と災害医療に関する国の施策と法律	講義 (対面)	秦野	予習：教科書 p 47～94 を読んでおく 復習：授業後に提示される forms に参加する	予習 3 時間、 復習 1 時間
3	災害医療活動の特徴 (トリアージ含む)	講義 (対面)	秦野	予習：教科書 p 95～128 を読んでおく 復習：授業後に提示される forms に参加する	予習 3 時間、 復習 1 時間
4	災害各期における看護活動 (サイクルに伴う)	講義 (対面)	秦野	予習：教科書 p 129～164 を読んでおく 復習：授業後に提示される forms に参加する	予習 3 時間、 復習 1 時間
5	被災者と支援者に対するこころのケア	講義 (対面)	谷	予習：教科書 p 165～184 を読んでおく 復習：授業後に提示される forms に参加する	予習 3 時間、 復習 1 時間
6	配慮を必要とする人々への支援と看護	講義 (対面)	秦野	予習： p 185～238 を読んでおく 復習：授業後に提示される forms に参加する	予習 3 時間、 復習 1 時間
7	防災・減災マネジメント	講義 (対面)	秦野	予習：教科書 p 239～262 を読んでおく。自分自身で、家族で、地域でできる備えについて考え、まとめておく。 復習：授業後に提示される forms に参加する	予習 3 時間、 復習 1 時間
8	災害時の国際協力活動 第 1 回～第 7 回の振り返りとまとめ	講義 (対面)	秦野	予習：教科書 p 263～278 を読んでおく 復習：授業後に提示される forms に参加する	予習 3 時間、 復習 1 時間
成績評価方法・基準	期末試験 60% (秦野)、各講義あとの forms への参加 40%				
課題に対するフィードバック	課題に対するフィードバック方法 (上記課題について、フィードバック方法を選択してください) ・forms への回答を集計し、次回講義冒頭でフィードバックを行う、 ・最終講義において、第 1～第 7 回の振り返りを行う				
教科書	ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践③ 災害看護 MC メディカ出版 (2022)				
参考書・参考文献	適時紹介します				
オフィス 学習相談 メッセー その他	秦野研究室 2 号館 1 階 214 研究室 火曜日 12:10～13:10、 その他の時には事前にメールでご連絡ください。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。				

開設科目名	保健医療福祉と看護	科目コード	BSNGC102	開設期	1年前期
単位数(履修区分)	2単位(必修)	時間数	30時間	授業区分	講義
責任者	眞崎直子	担当者	眞崎直子、橋口ちどり、渋江暁春、田中貴子		
授業の概要(授業の目的)					
人々の健康を維持・促進するために必要な基礎的な保健・医療・福祉の概要と看護について学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 我が国の保健医療福祉の制度と看護について理解できる。			地域の人々との連携・協働/ケア環境の構築		
2. 人々の健康課題の解決に必要な社会資源の開発について理解する。					
3. 保健医療福祉サービスの評価および調整方法について理解できる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	保健医療福祉と看護	講義<面接>	眞崎	教科書第1章、第2章を読んでおく	4時間
2	我が国の保健・医療の現状と課題	講義<面接>	眞崎	教科書第1章、第2章を読んでおく	4時間
3	社会保障制度と医療行政	講義<面接>	橋口	教科書第1章、第2章を読んでおく	4時間
4	地域包括ケアシステムと保健医療福祉施策	講義<面接>	橋口	教科書第3章、第4章を読んでおく	4時間
5	精神障害者に関する地域づくりと保健医療福祉施策	講義<面接>	眞崎	国民衛生動向精神保健の章を読んでおく	4時間
6	予防的視点を生かした地域づくりと保健医療福祉施策	講義<面接>	眞崎	国民衛生動向第3編を読んでおく	4時間
7	健康危機管理と保健医療福祉施策(課題実践)	講義<面接>	眞崎	国民衛生の動向37Pを読んでおく	4時間
8	社会福祉制度体系と法制度:全体像	講義<面接>	渋江	教科書第1章、第3章を読んでおく	4時間
9	社会福祉制度体系と法制度:(医療・年金ほか)	講義<面接>	渋江	教科書第1章、第2章を読んでおく	4時間
10	社会福祉制度体系と法制度:(公的扶助制度)	講義<面接>	渋江	教科書第3章を読んでおく	4時間
11	社会福祉制度体系と法制度:児童・家族福祉に関する制度	講義<面接>	渋江	教科書第6章を読んでおく	4時間
12	社会福祉制度体系と法制度:高齢者に関する制度	講義<面接>	渋江	教科書第4章を読んでおく	4時間
13	社会福祉制度体系と法制度:障がい者に関する制度	講義<面接>	渋江	教科書第5章を読んでおく	4時間
14	社会福祉制度体系と法制度:権利擁護に関する制度	講義<面接>	渋江	教科書207~208Pを読んでおく	4時間
15	社会資源の開発及び保医療福祉サービスの評価調整	講義・討議 <面接>	眞崎 田中	これまでの保健医療福祉制度を生かした看護の展開を各自考え、討論する。	4時間
成績評価方法・基準	① 定期試験(試験)80%(眞崎、橋口、渋江)②授業内演習(レポート)20%(眞崎)による総合評価				
課題に対するフィードバック	課題レポートは、プレゼン発表時にコメントし、課題についてはコメントをつけて返却する。				
教科書	NPO 法人日本医療ソーシャルワーク研究会『2023年度版 医療福祉総合ガイドブック』医学書院 2023 厚生労働統計協会『国民衛生の動向2022/2023』厚生労働協会 2022 看護法令要覧令和5年度版 勝又浜子他 日本看護協会出版会 2023.				
参考書・参考文献	藤内修二他『標準保健師講座 保健医療福祉行政論』医学書院 2023				
オフィス 学習相談 メッセージ その他	眞崎直子(7号館2階722研究室)、オフィスアワー:火曜12:10~13:10、その他在室時 *ICTの活用:演習後はWebClassで理解度の確認テストを受けることができます。解説を確認し、復習に活用してください。 変化の激しい今日、看護職には保健・医療・福祉制度を理解し、社会資源の知識と活用スキルが要求されます。そこで、身近にある社会福祉・保健医療制度とは何かを考えるように努めていただき、参加意識を持って講義に臨んでください。 この科目は、看護師課程・保健師課程の両方の教育内容を含みます				

開設科目名	地球環境と共生社会	科目コード	BSNGC103	開設期	1年 後期
単位数 (履修区分)	1 単位 (必修)	時間数	1 5 時間	授業区分	講義
責任者	藤田 八暉	担当者	藤田 八暉		
授業の概要 (授業の目的)					
わが国では高度経済成長期に、大気汚染、水質汚濁などの公害問題や自然破壊問題が発生し大変な社会問題となったが、近年では国際経済の発展によるグローバル化に伴い、人類の生存基盤である地球環境に大きな脅威を与え、将来世代にも大きな影響を及ぼす問題となっている。国内の環境問題と、地球温暖化、オゾン層の破壊、海洋の汚染、生物多様性の喪失などの地球環境問題についてレビューし、それぞれの取り組みの現状について学ぶことにより、人間の活動が地球環境と人類に与える影響について理解し、地球環境の保全と持続可能な共生社会の形成について考察する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 我が国の環境問題の経緯と今日の環境問題について説明できる。			持続可能な個人・集団・国の健康		
2) 地球環境問題の概要と地球温暖化問題の現状について説明できる。					
3) 地球温暖化防止に関する取組について理解することができる。					
4) オゾン層保護など主要な地球環境保全に関する取り組みについて理解することができる。					
5) 人間の活動が地球環境と人類に与える影響について理解することができる。					
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	我が国の公害・環境問題の変遷、四大公害病など公害健康被害問題、今日の環境問題とその特徴	講義 <面接>	藤田	配付プリントを予習・復習し、ノートを整理する。重要な用語について調べる。	4 時間
2	我が国の環境対策の歩み、環境基本法と環境保全の概念、循環型社会形成の推進方策、感染性廃棄物処理の要点	講義 <面接>	藤田	配付プリントを予習・復習し、ノートを整理する。指示した参考図書を読み、重要な用語について調べる。	4 時間
3	地球環境問題の概要、酸性雨問題への国際的取組、地球温暖化防止への国際的取組	講義 <面接>	藤田	配付プリントを予習・復習し、ノートを整理する。指示した参考図書を読み、重要な用語について調べる。地球環境問題に関する報道の内容を把握する。	4 時間
4	気候変動枠組条約 (地球温暖化防止条約) の要点、京都議定書とパリ協定の概要	講義 <面接>	藤田	同上	4 時間
5	熱中症予防対策の取組、気候変動に関する政府間パネル (IPCC) 報告書、SDGs の概要	講義 <面接>	藤田	同上	4 時間
6	オゾン層の破壊による人体等への被害、オゾン層保護のための取組、オゾン層の保護に関する条約	講義 <面接>	藤田	同上	4 時間
7	海洋の汚染と海洋環境保護、海洋プラスチックごみ問題	講義 <面接>	藤田	同上	4 時間
8	生物多様性の喪失と生物多様性保全のための取組、生物多様性保全条約	講義 <面接>	藤田	同上	4 時間
成績評価方法・基準	①定期試験 80% (藤田) 、②課題レポート 20% (藤田)				
課題に対するフィードバック	・講義最終日に講義の総評や今後の学習アドバイスを行う				
教科書	毎回プリントを配布する。また随時、ビデオ等を補助教材として使用する。				
参考書・参考文献	藤田八暉著「わが国の環境問題と環境政策を考える」『21 世紀の課題と経済学』(2006) 五弦社 藤田八暉著「循環型社会形成の理念とその推進方策」『文化経済学と地域創造』(2014) 新評論 藤田八暉著「我が国の地球温暖化対策の動向」『環境法研究 41 号』(2016) 有斐閣 藤田八暉著「久留米市市民環境講座」、「環境問題キーワード解説」(2021 年 4 月から毎月連載) 久留米市ホームページ 松尾博文著『みんなで考える脱炭素社会』(2022 年) 日本経済新聞出版				
オフィス学習相談 メッセージ	藤田八暉 (非常勤) 質問、相談等には、授業終了後、教室にて受け付けます。				

開設科目名	日本語表現論	科目コード	BSNGC104	開設期	1年前期
単位数(履修区分)	1単位(選択)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	吉田隆治	担当者	吉田隆治		
授業の概要(授業の目的)					
表現の基礎である語彙力を啓発し、各文の鑑賞・朗読及び文章作成等の日常的文章表現を行うことにより、日本語表現についての意識を高め、より深めることを目的とする。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) 表現の基礎である語彙力を啓発し、名文の鑑賞・朗読、自己PR文等の日常的文章表現を行うことができる				持続可能な個人・集団・国の健康	
2) 日本語表現についての意識を高め、言語によるコミュニケーション能力を高めることができる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	導入・名文に親しむ(1)…朗読(①～⑦) ・コミュニケーションについて ・名文①～⑦の概要説明	講義 <面接>	吉田	復習: 語彙力の暗記 文章の朗読と暗誦	2時間
2	日常的文章表現(1)…文章講座① ・プレゼンテーションについて 発声 ・名文⑧～⑭の概要説明	講義 <面接>	吉田	予習: 文章講座の例題を考える(プリント) 復習: 語彙力の暗記(問題) 文章の朗読と暗誦	4時間
3	日常的文章表現(2)…文章講座② ・文章の書き方(例題)研究 ・語彙力確認テスト① 発声	講義 <面接>	吉田	予習: 語彙力小テストへの対応 文章講座の例題を考える 復習: 文章講座(プリント)の読み	4時間
4	名文に親しむ(2)…解釈・朗読 ・古典名文①～⑦の解説 語彙力の学習 発声	講義 <面接>	吉田	予習: 高校までの古文について考える 復習: 語彙力について(問題)	4時間
5	日常的文章表現(3)…封筒・手紙の書き方 ・手紙分の作成 語彙力確認テスト② 発声	講義 <面接>	吉田	予習: 高校での主な出来事、実績など検証 小テストへの対応 復習: 高校担任へのはがき作成	4時間
6	名文に親しむ(3)…文章読解 ・古典⑧～⑭の概要説明 発声 ・履歴書の書き方 是がき文の返却及び指導	講義 <面接>	吉田	予習: 自己PRに必要な自分史のまとめ 復習: 古文(名文)の冒頭を声に出して読むことと 暗誦	4時間
7	日常的文章表現(4)…例題の答 ・履歴書の全体的説明 ・文章講座のまとめ	講義 <面接>	吉田	予習: 語彙力のまとめ 復習: 日常的文章の扱い方を確認	4時間
8	まとめ「名文に親しむ」30作品について再読 ・古典作品についての解説	講義 <面接>	吉田	復習: 名文冒頭の暗誦について	4時間
成績評価方法・基準	①提出作品及び定期試験又はレポート40% ②確認小テスト30% ③参加態度20% ④発表10% ※いずれも科目責任者が評価を行う				
課題に対するフィードバック	・課題の模範解答を講義内に、または後日提示します ・提出した作品について、個別に訂正等を行い、返却します ・講義内に小テストの解答解説を行います				
教科書	特になし				
参考書・参考文献	『日本語表現法』 樹書房 金田一春彦『日本語・新版』 岩波新書 斉藤孝『声に出して読みたい日本語』 草思社				
オフィス 学習相談 メッセージ その他	吉田隆治(非常勤) 授業後、教室で質問を受け付けます 日本文学作品の解説を通して表現方法・語彙など学生の意識を高める。				

開設科目名	English I (英語 I)	科目コード	BSNGC105	開設期	1年後期
単位数(履修区分)	2単位(必修)	時間数	30時間	授業区分	講義
責任者	FORTIN, Eric	担当者	FORTIN, Eric		
授業の概要(授業の目的)					
<p>The purpose of this course is to introduce students to the most necessary English medical words and phrases that nurse might need in the hospital setting, either in communicating with foreign patients or hospital staff. Students will also review the basic English that they have studied in junior and senior high school and see how it can be expanded to hospital-related situations that nurses need to be able to use. Students will also be introduced to some Asian countries where institutions that have sister college relationships with St. Mary's College are located.</p>					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) Students will learn nursing and medical English needed in the hospital setting.				持続可能な個人・集団・国の健康	
2) Students will develop their basic vocabulary					
3) Students will develop writing skills through journal writing.					
4) Students will develop English speaking skills through short presentations					
5) Students will learn a little about other countries and cultures.					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	Introduction to the Course	講義(面接)	FORTIN	Unit 1 Preparation	4時間
2	Unit 1. Meeting a New Patient	講義(面接)	FORTIN	Review Conversations, Key Expressions	4時間
3	Unit 2. Talking About Symptoms	講義(面接)	FORTIN	Journal writing assignment 1	4時間
4	Unit 3. Doing the Rounds Country profile – Korea (special study materials)	講義(面接)	FORTIN	Review Conversations, Key Expressions	4時間
5	Unit 4. In-Patient Orientation Country profile: Korea	講義(面接)	FORTIN	Review Conversations & Crossword	4時間
6	Unit 5. Explaining Medication	講義(面接)	FORTIN	Review Key expressions	4時間
7	Unit 6. More Symptoms	講義(面接)	FORTIN	Review Conversations & Crossword	4時間
8	Unit 7. Review	講義(面接)	FORTIN	Review Units 1-6	4時間
9	Midterm Examination Country Profile: Thailand (special study materials)	講義(面接)	FORTIN	Journal writing assignment 2	4時間
10	Unit 8. Accidents and Injuries Country profile - Thailand	講義(面接)	FORTIN	Review Conversations, Key Expressions	4時間
11	Unit 9. Patient Examination	講義(面接)	FORTIN	Review Conversations & Crossword	4時間
12	Unit 10. Taking a Medical History	講義(面接)	FORTIN	Review Conversations, Key Expressions	4時間
13	Unit 11. Lifestyle and Diet	講義(面接)	FORTIN	Journal writing assignment 4 (Combining Ass. 1-3)	4時間
14	Unit 12. Explaining Hospital Tests	講義(面接)	FORTIN	Review Conversations, Key Expressions	4時間
15	Unit 13. Review	講義(面接)	FORTIN	Review Units 8-12	4時間
成績評価方法・基準	Final exam: 50%; Small test: 20%; Reports: 20%; Group conversations: 10%				
課題に対するフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の復習の模擬試験の解答チェックを行う ・レポートの書き直しの暗示 				
教科書	Simon Capper, 『Bedside Manner Beginner』, Perceptia Press, Nagoya 2013				
参考書・参考文献	特になし				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	Eric Fortin (6号館 2F L621 研究室)、オフィスアワー:水曜日 16:30~17:30				

開設科目名	French (フランス語)	科目コード	BSNGC106	開設期	1年後期
単位数 (履修区分)	1 単位 (選択)	時間数	15 時間	授業区分	講義
責任者	FORTIN、Eric	担当者	FORTIN、Eric		
授業の概要 (授業の目的)					
<p>This course will introduce students to the basic vocabulary, expressions, and essential grammar of the French language while exposing them to various aspects of French culture and daily life.</p> <p>(基本的な日常フランス語を習いながら、フランスの文化も学ぶ。)</p>					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) Students will learn the French pronunciation system and basic vocabulary.				持続可能な個人・集団・国の健康	
2) Students will learn the most important and useful French grammar.					
3) Students will learn about French culture and life.					
4) Students will have ample opportunity to practice role-playing situations.					
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	挨拶: 自己紹介、国籍、仕事; 教室のもの	講義(面接)	FORTIN	やる気を持ってください。	2 時間
2	買い物: 教室のもの、数字、色	講義(面接)	FORTIN	復習	4 時間
3	宿泊: 家、家族、ホテルの予約	講義(面接)	FORTIN	復習	4 時間
4	食べ物: レストランの注文、時間、食事	講義(面接)	FORTIN	復習	4 時間
5	乗り物: 曜日、町の場所	講義(面接)	FORTIN	復習	4 時間
6	観光: フランスの名所、自然	講義(面接)	FORTIN	復習	4 時間
7	問題: 体、医者と患者、事故	講義(面接)	FORTIN	復習	4 時間
8	復習	講義(面接)	FORTIN	復習	4 時間
成績評価方法・基準	Final written exam: 40%; Final oral exam: 40%; Role play participation: 20%				
課題に対するフィードバック	毎回の復習と正しい発音・フランス語会話の使い方の指導				
教科書	特になし (教員からのプリント)				
参考書・参考文献	特になし				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	Eric Fortin (6号館 2F L621 研究室)、オフィスアワー:水曜日 16:30~17:30				

開設科目名	スペイン語	科目コード	BSNGC107	開設期	1年後期
単位数(履修区分)	1単位(選択)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	フジョシ ミヨコ	担当者	フジョシ ミヨコ		
授業の概要(授業の目的)					
国際公用語のひとつとして、基礎的な日常会話を学び、スペイン語文化圏への理解を深める。初歩的基本的事項に関し、現実的状况に即した表現を通して「話す」「聞く」「読む」「書く」力を総合的に身につけることを目標とする。また、生活習慣や行事のほか、文化紹介も行う。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) 簡単な挨拶や自己紹介ができる				持続可能な個人・集団・国の健康	
2) よく使う動詞(規則動詞、不規則動詞)の現在形の活用、目的語(直接、間接)とその使い方が理解できる					
3) 再帰動詞について理解できる					
4) スペイン語文化圏の生活習慣や行事、文化等について理解できる					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	授業の目標と進め方、基本的な挨拶 アルファベット・発音・アクセントの位置	講義 <面接>	フジョシ	授業内容の復習	4時間
2	SER 動詞、冠詞+名詞+形容 自己紹介、国籍、出身地、職業等 物や人物の描写	講義 <面接>	フジョシ	授業内容の復習	4時間
3	E S T A R, H A Y 動詞 健康状態を表す、場所の説明	講義 <面接>	フジョシ	授業内容の復習	4時間
4	規則活用動詞(直説法現在) 時間経過と天候の表現	講義 <面接>	フジョシ	授業内容の復習	4時間
5	不規則動詞変化形 ～したい、～と思うの表現	講義 <面接>	フジョシ	授業内容の復習	4時間
6	不規則動詞変化形 ～できる、～しなければならないの表現 近い未来の表現	講義 <面接>	フジョシ	授業内容の復習	4時間
7	直接目的格人称代名詞、間接目的格人称代名詞、 [～を]の代名詞、[～に]の代名詞	講義 <面接>	フジョシ	授業内容の復習	4時間
8	G U S T A R 動詞、再帰動詞 ～が好きだ、～興味ある、～と思う、～が痛い表現 他動詞の自動詞化、無人称・受身の表現	講義 <面接>	フジョシ	授業内容の復習	4時間
成績評価方法・基準	①小テスト、授業内レポート 80% ②宿題 20% ③態度を目安に評価する。 ※すべて科目責任者が評価を行う				
課題に対するフィードバック	最後の講義日に今後の学修アドバイスを行う				
教科書	特になし				
参考書・参考文献	山道佳子、Jesús M. Martínez Astudillo、『En español, por favor! (同学社) ISBN 4-8102-0362-X ※西和・和西辞典の持参が望ましい。特に指定はしない。				
アドバイザー 学習相談 メッセージ その他	フジョシ・ミヨコ(非常勤) 授業終了後、教室で質問を受け付ける。 ラテンアメリカの国々とスペイン等、サッカーでもよく使われるスペイン語にふれてみませんか?				

開設科目名	韓国語	科目コード	BSNGC108	開設期	1年前期
単位数(履修区分)	1単位(選択)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	池田桂子	担当者	池田桂子		

授業の概要(授業の目的)

最も近い隣国の言語のひとつとして、基礎的な日常会話を学び、韓国語文化圏への理解を深める。初歩的、基本的な事項に関し、現実的状况に即した表現を通して「話す」「聞く」「読む」「書く」力を総合的に身につけることを目標とする。また、生活習慣や行事の他、文化紹介も行う。

学修の到達目標

ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連

- 1) 韓国語の文字ハングルの仕組みが理解できる
- 2) 基礎的な文法が理解できる
- 3) 隣国の言葉や文化に興味を持つことができる

持続可能な個人・集団・国の健康

授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)

回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	韓国語の書き方, 読み方① ハングルの子音・母音の発音	講義 <面接>	池田	発音の練習をしておく	4時間
2	韓国語の書き方, 読み方② 子音と母音の組み合わせの発音	講義 <面接>	池田	発音の練習をしておく	4時間
3	韓国語の書き方, 読み方③ 子音+母音+子音の発音と合成母音の発音	講義 <面接>	池田	発音の練習をしておく	4時間
4	あいさつ	講義 <面接>	池田	発音の練習をしておく	4時間
5	韓国の文化	講義 <面接>	池田	両国の文化を調べ、比較しておく	4時間
6	文法・会話① 動詞の活用と助詞の使い方	講義 <面接>	池田	動詞、形容詞の活用の作り方の復習をしておく	4時間
7	文法・会話② 疑問文、否定文	講義 <面接>	池田	疑問文、否定文の作り方の復習をしておく	4時間
8	まとめ	講義 <面接>	池田	今まで習った韓国語を応用できるようにしておく	4時間

成績評価方法・基準 ①筆記試験90% (池田) ②レポート 10% (池田)

課題に対するフィードバック 講義最終日に講義の総評や今後の学習アドバイスをを行います

教科書 プリント

参考書・参考文献 特になし

オフィス
学習相談
メッセージ
その他
池田桂子(非常勤) 講義終了後、教室で質問を受け付けます
韓国の文化・生活習慣の紹介によって、もっとも近い隣国を知る機会になる。

開設科目名	中国語	科目コード	BSNGC109	開設期	1年前期
単位数(履修区分)	1単位(選択)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	管虹	担当者	管虹		
授業の概要(授業の目的)					
アジアのメンバー、多大な影響を与え合った国の言語の一つとして基礎的な日常会話を学び、中国語文化圏への理解を深める。初歩的、基本的な事項に関し現実的状况に即した表現を通して「話す」「聞く」「読む」「書く」力を総合的に身につけることを目標とする。また、生活習慣や行事の他、文化紹介も行う。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 初歩的な中国語の会話ができる			持続可能な個人・集団・国の健康		
2) 中国語で基礎的な医療用コミュニケーションができる					
3) 中国文化について理解できる					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	グループ分け、協同学習について、中国語概説 第1課 自己紹介。発音、挨拶①	講義 <面接>	管	予習：はじめに、中国語概説 復習：発音、挨拶① 予習：単語、挨拶① 復習：発音、挨拶①	4時間
2	第1課 自己紹介。表現、会話、ドリル	講義 <面接>	管	予習：表現、会話 復習：自己紹介	4時間
3	第2課 どうなさいましたか。発音、挨拶②、表現	講義 <面接>	管	予習：単語、挨拶②、表現 復習：発音、数字	4時間
4	第2課 どうなさいましたか。会話、ドリル 第3課 この薬はどう飲みますか。発音、表現	講義 <面接>	管	予習：会話 復習：症状の言い方 予習：単語、表現 復習：発音、	4時間
5	第3課 この薬はどう飲みますか。会話、ドリル	講義 <面接>	管	予習：会話 復習：薬の飲み方の表現	4時間
6	第4課 病室はどこですか。発音、表現	講義 <面接>	管	予習：単語、表現 復習：場所・方向の表現	4時間
7	第4課 病室はどこですか。会話、ドリル	講義 <面接>	管	予習：会話 復習：存在の表現	4時間
8	まとめ、復習	講義 <面接>	管	復習：発音・表現・会話の総合復習	4時間
成績評価方法・基準	① 期末試験 60% (管) ②小テスト・課題 40% (管)				
課題に対するフィードバック	①小テスト終了時、点数や解答が自動システムによって提示され、「成績評価」メニューで確認できる。 ②課題の正解は次回の講義で提示される。				
教科書	①『協同学習で学ぶ 医療系中国語会話』李偉・管虹 著 白帝社				
参考書・参考文献	特になし				
オフィス 学習相談 メッセージ その他	管虹(非常勤) 授業終了後、教室で質問を受け付けます				

開設科目名	English Communication	科目コード	BSNGC110	開設期	1年後期
単位数(履修区分)	1単位(自由)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	FORTIN, Eric	担当者	FORTIN, Eric		

授業の概要(授業の目的)

This class is the first part of the Global Human Resources course at St. Mary's College. In this class students will develop confidence and fluency in speaking English using vocabulary and grammar that they have studied in junior and senior high school.

学修の到達目標

ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連

- 1) Students will develop confidence in speaking about various topics.
- 2) Students will develop fluency using previously-studied vocabulary and grammar.
- 3) Students will be able to conduct common situational conversations.
- 4) Students will understand the importance of cross-cultural communication.

持続可能な個人・集団・国の健康

授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)

回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	Introductions	講義(面接)	FORTIN	Bring motivation	2時間
2	Starting Conversations, Role plays	講義(面接)	FORTIN	Review	4時間
3	Developing Conversations, Role plays	講義(面接)	FORTIN	Review	4時間
4	Making Invitations and Suggestions, Role plays	講義(面接)	FORTIN	Review, Role play preparation	4時間
5	Expressing Likes/Dislikes & Feelings, Role plays	講義(面接)	FORTIN	Review	4時間
6	Requests, Role plays	講義(面接)	FORTIN	Review	4時間
7	Stating Opinions, Role plays	講義(面接)	FORTIN	Review	4時間
8	Giving Advice, Final presentations	講義(面接)	FORTIN	Review, Role paly preparation	4時間

成績評価方法・基準

Final oral exam: 70%; Role plays: 20%; Class participation: 10%

課題に対するフィードバック

毎回の復習と正しい発音・英会話の使い方の指導

教科書

Gary Ireland, Kevin Murphy, Max Woollerton, 『The English Course: Speaking Book 1』、
The English Company (株)

参考書・参考文献

特になし

オフィスアワー
学習相談
メッセージ
その他

Eric Fortin (6号館 2F L621 研究室)、オフィスアワー:水曜日 16:30~17:30